市町村名	うるま市

平成２４年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-②	沖縄IT津梁パーク周辺環境整備事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－３－(3)－ア 情報通信関連産業の立地促進
担当部課名	経済部　企業立地雇用推進課	事業実施年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(4)
事業内容	沖縄IT津梁パーク周辺における安心安全な企業立地環境を創出するため、州崎幹線5号に道路照明等の防犯灯を整備する。				
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	12,600	－			
	(b)予算現額	10,965	－			
	(c)増減額(b-a)	▲ 1,635	－			
	(d)繰越額	－	9,600			
	A．計(b+d)	10,965	9,600			
B．執行済額		1,365	9,438			
うち交付金充当額		1,092	7,549			
次年度繰越額		9,600	0			
執行率（%）(B/A)		12.4%	98.3%			

予算の状況の説明

防犯灯への電力供給の方法及び、仮設電柱の設置負担等について電力事業者である沖縄電力との調整に不測の日数を要したため、繰越すこととなった。
　当初想定していた施工方法に変更が生じたことで、工事費の増額などの影響により一部単費で実施することとなったが、既に企業が立地しているエリアの防犯灯の整備を実施することができた。

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
①沖縄IT津梁パーク周辺市道における道路照明等設置数　11基	目　標	（道路照明等設置数　11基）	（　）	（　）	（　）
	実　績	道路照明等設置数　6基			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明

道路照明等 設置数11基を予定していたが、設置後のランニングコストを軽減するため水銀灯ランプから長寿命で省エネであるLEDランプを採用した結果、資材費の増額となった。また、当地域(州崎地区)は無電柱化区域であることから、電力供給が架空線から埋設管路へ変更となり工事費が増額となった。当初計画からの設置数は減となったが、地域企業の施設内防犯灯や単費予算での設置を1基行い、立地企業区域の防犯機能は達成された。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
①沖縄IT津梁パーク周辺市道における道路照明等設置数　11基	目　標	（　）	道路照明等設置数　11基	（　）	（　）	（　）
	実　績		道路照明等設置数　6基			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明

工事を平成２５年１０月１日に発注したが、製品(LEDランプ)が、受注生産製品であることと防犯灯の設置延長が延びたことによる工期変更を行いましたが、平成２６年1月３１日に完了。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	沖縄IT津梁パ-ク周辺は暗がりがあり、防犯上の安全を確保するためには州崎幹線5号線に道路照明等を整備し、安心安全な企業地環境の創出を図る必要がある。	今後においても、企業の立地状況をみながら防犯灯の設置エリアーを拡大し、防犯灯を設置していきたい。

今後の取り組み方針

今後においても、企業の立地状況をみながら防犯灯の設置エリアーを拡大し、安心安全な企業立地環境の創出に努めていきたい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
10,803	10,803	8,641	2,162	0

うるま市
10,803千円

→ 委託料 1,365千円 → 有限会社　快理設計 1，365千円 （道路照明等の防犯灯整備にかかる設計業務）

→ 工事請負費 9,438千円 → 有限会社 丸興電設 9,438千円 （道路照明等の防犯灯整備にかかる設置工事）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・設計委託業務及び工事請負については、指名選定競争入札においての落札業者であるため、適正と考えている。 ・予算については、工事費の増額などによる不足分については、単費で対応した。 ・費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	うるま市

平成２４年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-⑤	金武湾～海中道路における海洋性リゾート空間形成事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ウ
担当部課名	企画部　企画課	事業実施(予定)年度	平成２４～２６年度		観光客の受入体制の整備
				沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)
事業内容	地域資源を再確認し、金武湾から海中道路にかけた地域を魅力ある観光地としての形成できるようリゾート空間形成に向けたニーズ及び可能性調査等を実施する。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	12,044	－			
	(b)予算現額	12,044	－			
	(c)増減額(b-a)	0	－			
	(d)繰越額	－	12,044			
	A．計(b+d)	12,044	12,044			
B．執行済額		0	12,005			
うち交付金充当額		0	9,604			
次年度繰越額		12,044	0			
執行率（%）(B/A)		0.0%	99.7%			

予算の状況の説明：観光関係者から、新たな調査要望があり、調査事業の仕様調整に不測の時間を要したため繰越すこととなった。
平成24年度当初予算不用額が発生しているが、プロポーザル提案による、契約額との差額分であり、執行は適切に行われた。

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
ニーズ調査及び可能性調査等の実施	目　標	（　調査等の実施　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	調査等の実施 シンポジウム開催 報告書作成			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：
・市内・県内・県外のうるま市に来たことのある調査対象者へインターネット調査を実施。(1，031サンプル)
　うるま市のイメージや観光地、過ごし方の市民と他地域の訪問者の意識のギャップの確認。
・グループインタビューの実施
　首都圏のうるま市に行ったことがあるカップルや子ども連れ、沖縄県内のグループの意識調査により、うるま市の海の評価や求められている施設、プログラム等の把握
・円卓会議の実施　参加人数　105名

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
ニーズ調査及び可能性調査等の実施	目　標	（　）	調査等の実施	（　）	（　）	（　）
	実　績		シンポジウム1回 105名 調査報告書50部 概要版200部			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：市民の円卓会議シンポジウム実施等により、海浜の利用について地域住民とのルール作りの必要性が提案された。また、自然環境への配慮等を踏まえた事業の進め方や地域住民への周知、事業実施主体などとの調整が必要となる。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・現状の分析から、市民等が考えている観光客のイメージや海との関わり方についてのギャップが浮き彫りになった。 ・地域からの声で、他の地域から多くの人が来すぎると、地域環境が破壊されてしまうとの話があり、観光振興とのバランスが必要である。	地域コミュニティーやNPO等との対話を元に、観光的なニーズに結びつく地域が楽しんでいる行事や遊びを発見していく。 海岸線に求められている整備等を自然環境に配慮しながら検討していく。

今後の取り組み方針

照間海岸をベースにした海中道路や島しょ地域への波及を目的にした事業を地域の声を拾いながら各分野ごとに順次実施していく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
12,005	12,005	9,604	2,401	0

うるま市
12,005千円
→
委託料
12,005千円円
→
株式会社JTB沖縄
12,005千円
（金武湾～海中道路における海洋性リゾート空間形成事業委託業務）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により提案内容、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものであり適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	うるま市

平成２４年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-⑥	うまんちゅ健康文化交流広場整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－2－(ウ) 観光客の受入体制の整備
担当部課名	都市計画部　都市計画課	事業実施(予定)年度	平成２４～２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(2)
事業内容	市民の健康づくりを推進することによって健康長寿地域としてのイメージ発信に繋げるとともに、地域における伝統芸能･文化の継承活動と交流･体験の場として、交流広場の整備を実施する。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	108,436	-			
	(b)予算現額	108,436	-			
	(c)増減額(b-a)	0	-			
	(d)繰越額	―	101,527			
	A. 計(b+d)	108,436	101,527			
B. 執行済額		6,909	101,527			
うち交付金充当額		5,527	81,221			
次年度繰越額		101,527	0			
執行率（%）(B/A)		6.4%	100.0%			
予算の状況の説明		地元ととのワークショップにより、擁壁等の設置が必要となり、その検討等に不測の時間を要したため繰越すこととなった。 計画的な予算執行に努め、当初計画していた内容は全て業務を遂行した。				

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
うまんちゅ健康文化交流広場整備に係る実施設計等の実施	目　標	（実施設計等の実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績	実施設計等の実施			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明

･うまんちゅ健康文化交流広場設計委託業務等を実施した。
･うまんちゅ健康文化交流広場整備として、敷地造成工･園路広場工･休養施設工･遊戯施設工･管理施設工及び便所･東屋等の整備工事を実施した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
うまんちゅ健康文化交流広場整備に係る実施設計等の実施	目　標	（　）	実施設計等の実施	（　）	（　）	（　）
	実　績		実施設計等の実施			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明

･うまんちゅ健康文化交流広場設計委託業務等を実施した。
･うまんちゅ健康文化交流広場整備として、敷地造成工･園路広場工･休養施設工･遊戯施設工･管理施設工及び便所･東屋等の整備工事を実施した。

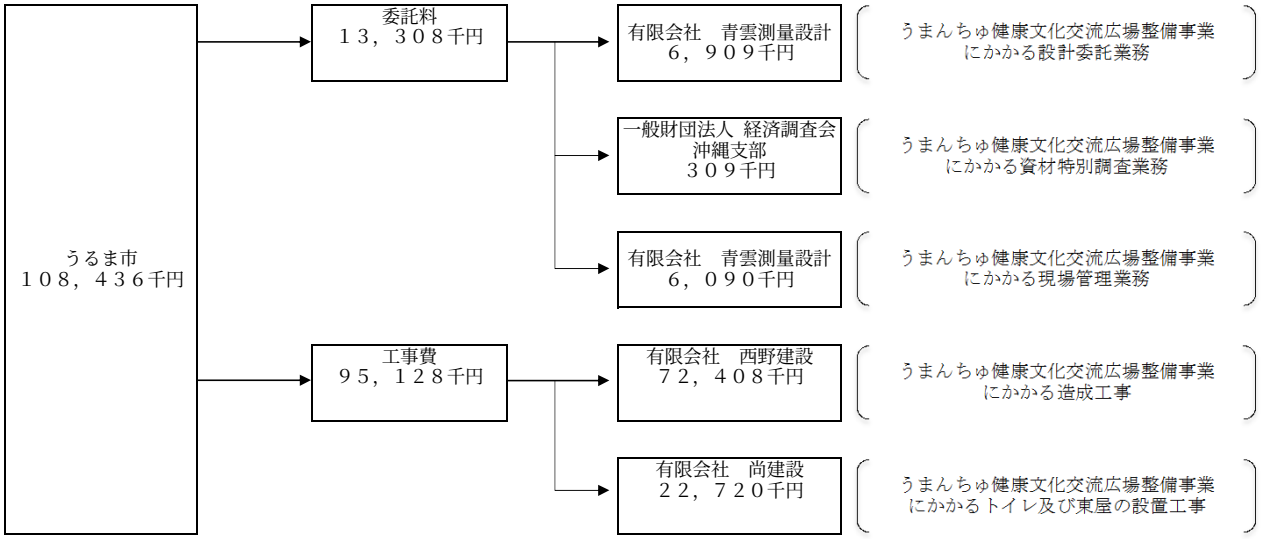
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・工事着手後に、現地土質の特性により想定外の粉塵が発生し、地域住民へ影響がでたため現場対策等に日数を要し工期の遅れが生じる事となったが、当初計画していた内容は全て実施することができた。	・今後も地域住民の生活や安全等に考慮した整備に努める。

今後の取り組み方針

供用開始後、地域と連携し「市民の健康づくりを推進することによって健康長寿地域としてのイメージ発信に繋げるとともに、地域における伝統芸能・文化の継承活動と交流・体験の場」として、具体的なイベントや管理等を調整していく。
類似整備の実施の時は、設計時から土質や地域特性を考慮し、余裕を持った工期・対策等を検討したい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
108,436	108,436	86,748	21,688	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○受託業者は、指名競争入札により選定しており、妥当であると考えている。（一部、地方自治法施行令第167条の2第1項1号・うるま市契約規則第44条に基づく随意契約を含む） ○事業目的達成の観点より予算を執行しており、適正であり、妥当と考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	うるま市

平成２４年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-⑧	海中道路ライトアップ観光景観形成事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－2－(ウ) 観光客の受入体制の整備
担当部課名	企画部　企画課	事業実施(予定)年度	平成２４～２６年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容	知名度と評価の高い海中道路の大橋をライトアップすることによって、当市における観光の付加価値向上と満足度を高め、観光誘客の促進と観光消費額の拡大を図る。
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	120,000	－			
	(b)予算現額	120,000	－			
	(c)増減額(b-a)	0	－			
	(d)繰越額	－	120,000			
	A. 計(b+d)	120,000	120,000			
B. 執行済額		0	29,736			
うち交付金充当額		0	23,788			
次年度繰越額		120,000	0			
執行率（%）(B/A)		0.0%	25%			

予算の状況の説明

照明及び太陽光発電等の工事箇所の事前検討にあたり、観光関係者をはじめ地元との調整に不測の日数を要したため繰越すこととなった。
平成24年度繰越事業で、基本計画及び基本設計業務、実施設計業務を行ったが、ライトアップ機器及び自然エネルギー機器の設置については、設置場所の海中道路大橋の改修工事が予定されていた為未実施となり不用額が発生している。

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
海中道路ライトアップに係る基本計画の策定及び基本設計･実施設計の実施	目　標	（基本設計･実施設計の実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績	基本計画及び基本設計･実施設計完了			
ライトアップの設備設置工事	目　標	（設置工事）	（　）	（　）	（　）
	実　績	H26年度事業で実施予定			

達成状況説明

基本計画策定及び基本設計、実施設計については、完了したが設置場所の海中道路大橋路盤部分の改修事業が平成２６年度に予定されていた為、年度内に整備することが出来なかった。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
海中道路ライトアップに係る基本計画の策定及び基本設計･実施設計の実施	目　標	（　）	基本設計･実施設計の実施	（　）	（　）	（　）
	実　績		基本計画及び基本設計･実施設計策定			
ライトアップの設備設置工事	目　標	（　）	（設置工事）	（　）	（　）	（　）
	実　績		H26年度事業で実施予定			

進捗状況説明

平成２５年度には、実施設計まで終了している。今後は海中道路大橋の改修工事の進捗を考慮しながら、ライトアップ設備等の設置に向けた沖縄県との調整を進め、平成２６年度において設置工事及び点灯式等を実施していく。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	沖縄県との事前調整で平成２５年度に橋脚部分の改修工事の情報があり、設置計画に支障ないように設計業務を行っていたが、平成２６年度事業として、設置場所の路盤部分改修が予定された為、ライトアップ整備を改修後に変更をする事になった。	実施設計が完了しているので、具体的な設置機器や方法等を海中道路大橋の管理者である、沖縄県と連携と情報交換を進める。 また、既存の設置配管等を利用することにより経費の節減及び工事期間の短縮に努め、年度内の早期の設置を目指す。

今後の取り組み方針

実施設計が完了しているので、具体的な設置機器や方法等を海中道路大橋の管理者である、沖縄県と連携と情報交換を進め、年度内の早期の設置を目指す。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
29,736	29,736	23,788	5,948	0

うるま市
29,736千円

→ 委託料
29，736千円

→ 株式会社　国建
13，965千円
（基本計画及び基本設計委託業務）

→ (株) 環境設計国建
15，771千円
（実施設計委託業務）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○基本計画及び基本設計については、プロポーザルによる選定を実施した。　実施設計に関しては、指名競争入札による選定を実施し、どちらも適切に行われている。 ○基本設計等業務と実施設計業務については、適正な規模による予算となっている。 ○今後、実施設計を踏まえた設備設置を行う。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	うるま市

平成２４年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-⑨	石川イベント公園機能強化調査事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－2－(ウ) 観光客の受入体制の整備
担当部課名	経済部　商工観光課	事業実施(予定)年度	平成２４～３０年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容

観光誘客を促進するため、石川イベント公園（通称「石川ドーム」）において、多彩な伝統芸能･文化をはじめ、うるま市ならではの地域資源等を生かした観光イベントを開催するためのビジョンや方策と、施設の活用方法や機能強化のあり方を調査検討するとともに、施設機能を最大限に発揮するための観光イベント（ソフト面）のニーズや開発を合わせて調査検討を実施する。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	13,000	－			
	(b)予算現額	13,000	－			
	(c)増減額(b-a)	0	－			
	(d)繰越額	－	13,000			
	A. 計(b+d)	13,000	13,000			
B. 執行済額		0	12,915			
うち交付金充当額		0	10,332			
次年度繰越額		13,000	0			
執行率（%）(B/A)		0.0%	99.3%			

予算の状況の説明

調査方式の検討にあたり観光事業者等から、機能強化に関する検討要望があり、調整･検討に不測の日数を要したため繰越すこととなった。
不用額が85千円発生しているが、事業委託者を選定するにあたりプロポーザル形式を採用したことによる契約金額の減によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
石川ドームの施設機能強化に向けた調査事業の実施	目　標	（調査事業の実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績	調査の実施			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明

本調査の目的であった①「新規観光イベントの創出」については、8種類の新規イベントが企画案として提出されている。また、②「石川イベント公園の施設機能強化」については、多数のアンケート調査結果等を基礎とした石川多目的ドームの機能拡張案に加え、駐車場整備計画等の周辺整備案が提出された。
いずれも事業仕様書の内容を満たしており、適正であったものと考えている。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
石川ドームの施設機能強化に向けた調査事業の実施	目　標	（　）	調査事業の実施	（　）	（　）	（　）
	実　績		調査の実施			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明

本調査の目的であった①「新規観光イベントの創出」については、8種類の新規イベントが企画案として提出されている。また、②「石川イベント公園の施設機能強化」については、多数のアンケート調査結果等を基礎とした石川多目的ドームの機能拡張案に加え、駐車場整備計画等の周辺整備案が提出された。
いずれも事業仕様書の内容を満たしており、適正であったものと考えている。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	本事業については、H24年度繰越事業であることから、できるだけ早期の事業完了が求められており、当初は平成25年10月30日付けの事業完了を想定していたが、契約段階において、本施設においてイベントを開催する闘牛関係者以外の主催者等から、機能強化についての意見を聴取することで、より充実した調査結果を得ることができるとの判断から、履行期間を平成26年3月14日に拡大して契約した。 その結果、闘牛関係者やその他イベント主催者の意見を多く聴取し、その内容を踏まえた調査結果を得ることが出来た。	機能強化に係る工事等については、予算規模も大きいこと等から、調査結果を踏まえつつ、施設整備の優先度を定め、平成26年度以降、段階的に整備事業を展開していく。

今後の取り組み方針

今後は、調査事業に基づく施設整備について、段階的に石川イベント公園の機能強化を図っていく。
平成26年度については、石川イベント公園の下記内容の整備を実施する予定である。
①チケット販売所の整備　②観客席の設置　③トイレの増設　④物販設備（仮設販売所）

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
12,915	12,915	10,332	2,583	0

うるま市
12，915千円
→
委託料
12，915千円
→
株式会社　国建
12，915千円
（石川イベント公園機能強化にかかる調査委託）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	うるま市

平成２４年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4-①	勝連城跡周辺文化観光拠点整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－2－(ウ) 観光客の受入体制の整備
担当部課名	都市計画部　都市計画課	事業実施(予定)年度	平成２４～３２年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(2)

事業内容

世界遺産として登録されている勝連城跡は、毎年多くの観光客が来場するものの、周辺施設の整備が不十分であることから観光消費及び地域活性化につながっていない状況にある。
そこで、勝連城跡の世界遺産としての価値を保全しつつ、文化を軸とした観光振興を図るため、体験･交流を含めた複合的な文化観光拠点の整備を実施する。

実施方法

■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	14,150	-			
	(b)予算現額	14,150	-			
	(c)増減額(b-a)	0	-			
	(d)繰越額	―	13,114			
	A. 計(b+d)	14,150	13,114			
B. 執行済額		1,034	12,747			
うち交付金充当額		827	10,197			
次年度繰越額		13,114	0			
執行率（%）(B/A)		7.3%	97.2%			

予算の状況の説明

市民ワークショップで多数の要望、意見があり、その対応に不測の日数を要したため繰越すこととなった。
不用額が370千円発生しているが、委託料の入札執行残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
文化観光拠点整備に向けた基本計画の策定	目　標	（基本計画の策定）	（　）	（　）	（　）
	実　績	基本計画の策定			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明

基本計画策定のため、市民ワークショップ(3回)、市民説明会(1回)、庁内検討会議(3回)、外部有識者会議(3回)等を開催し、広く意見を集め各レベルにおける検討を実施した。また、県内の世界遺産および県外先進地事例を視察し、計画検討作業の資料とした。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
文化観光拠点整備に向けた基本計画の策定	目　標	（　）	基本計画の策定	（　）	（　）	（　）
	実　績		基本計画の策定			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明

勝連城跡一帯をうるま市の文化･観光の拠点として位置づけ、文化･観光振興をとおして地域活性化に資する複合的な機能を集約させたエリアの創出を目指すとともに、創造性に満ちた施策の展開による勝連城跡の活用を図るための基本計画を策定した。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	文化、観光、環境等多岐にわたる分野について、市民から有識者まで広く意見を集め、議論することができた。 委員会は、意見が偏らないように多くの分野から意見を集める為、有識者（歴史・文化・観光・環境・都市計画・景観・民間等）の選定を慎重に行った。 県内外の先進地を視察することにより、広い視点から計画検討作業ができた。	文化、観光、環境等多岐にわたる分野の検討において、説明会や各種会議を開催し、多くの意見を集め、とりまとめに充分な議論を行なえた。 住民の関心が高いことから、進捗状況等について適宜、情報発信を行う必要がある。

今後の取り組み方針

今後、事業の進捗について、住民への情報発信を充実するため、市広報誌および市ホームページ等を活用し情報発信に努める。
また、今後も市民から有識者まで広く意見を集め十分に議論を行い、文化・観光の振興をとおして地域活性化に資する複合的な機能を集約させたエリアの創出を目指す。
平成25年度については、基本設計にかかる基礎調査を実施した。平成26年度はそれを基に基本設計を実施する予定であり、勝連城跡周辺の整備を順次進めて行きたい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
13,781	13,781	11,024	2,757	0

うるま市 13,781千円
- 委託料 12,128千円 → ㈱国建 12,128千円（基本計画策定にかかる委託業務）
- 事務費 1,653千円（共済費、旅費等）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名業者によるプロポーザル方式により、創造性、技術力、経験等を審査した上で選定しており妥当である。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	うるま市

平成２４年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4-②	生涯学習･文化振興拠点整備事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－１－（４）－ウ 文化活動を支える基盤の形成
担当部課名	教育部　生涯学習振興課	事業実施（予定）年度	平成２４～２７年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－３－（２）

事業内容

当市には、エイサーをはじめ、闘牛、ウスデーク、獅子舞、豊年祭など多種多様な伝統文化･行事が残されている。それらは、「うるま市ならでは」の地域資源であり、文化振興及び生涯学習を振興するための拠点施設を整備し、世界遺産勝連城跡を中心に、文化の薫るまちづくりを推進する。

実施方法

■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（ ）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度（繰越）	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	474,645	－			
	(b)予算現額	487,911	－			
	(c)増減額(b-a)	13,266	－			
	(d)繰越額	-	465,612			
	A．計(b+d)	487,911	465,612			
B．執行済額		22,134	395,565			
うち交付金充当額		17,707	312,638			
次年度繰越額		465,612	－			
執行率（%）(B/A)		4.5%	85.0%			

予算の状況の説明

平成24年度については、設計や用地買収、物件補償等の予定であったが、用地交渉等に不測の日数を要したため繰越すこととなった。
想定以上の用地取得額及び物件補償額となったことなどから予算を増額した。しかし、一部予定していた用地が地主の意向により取得できなかったことなどから不用額が発生することとなったが、計画を遂行するために必要な用地は取得することができた。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
生涯学習･文化振興拠点施設の整備に向けた実施設計	目　標	（　実施設計　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	実施設計の完了			
生涯学習･文化振興拠点施設の整備に向けた用地買収等の実施	目　標	（　用地買収等の実施　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	用地買収等の完了			

達成状況説明

H24年度については、主に下記の内容を実施した。
①外構設計　②実施設計　③物件移転補償　④公有財産購入
公有財産購入等について、地権者との協議に時間を要したが、完了することができた。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
生涯学習･文化振興拠点施設の整備に向けた実施設計	目　標	（　）	（　実施設計　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		実施設計の完了			
生涯学習･文化振興拠点施設の整備に向けた用地買収等の実施	目　標	（　）	用地買収等の実施	（　）	（　）	（　）
	実　績		用地買収等の完了			

進捗状況説明

H24年度については、主に下記の内容を実施した。
①外構設計　②実施設計　③物件移転補償（８件）　④公有財産購入（14件　取得面積：9,080.29㎡）

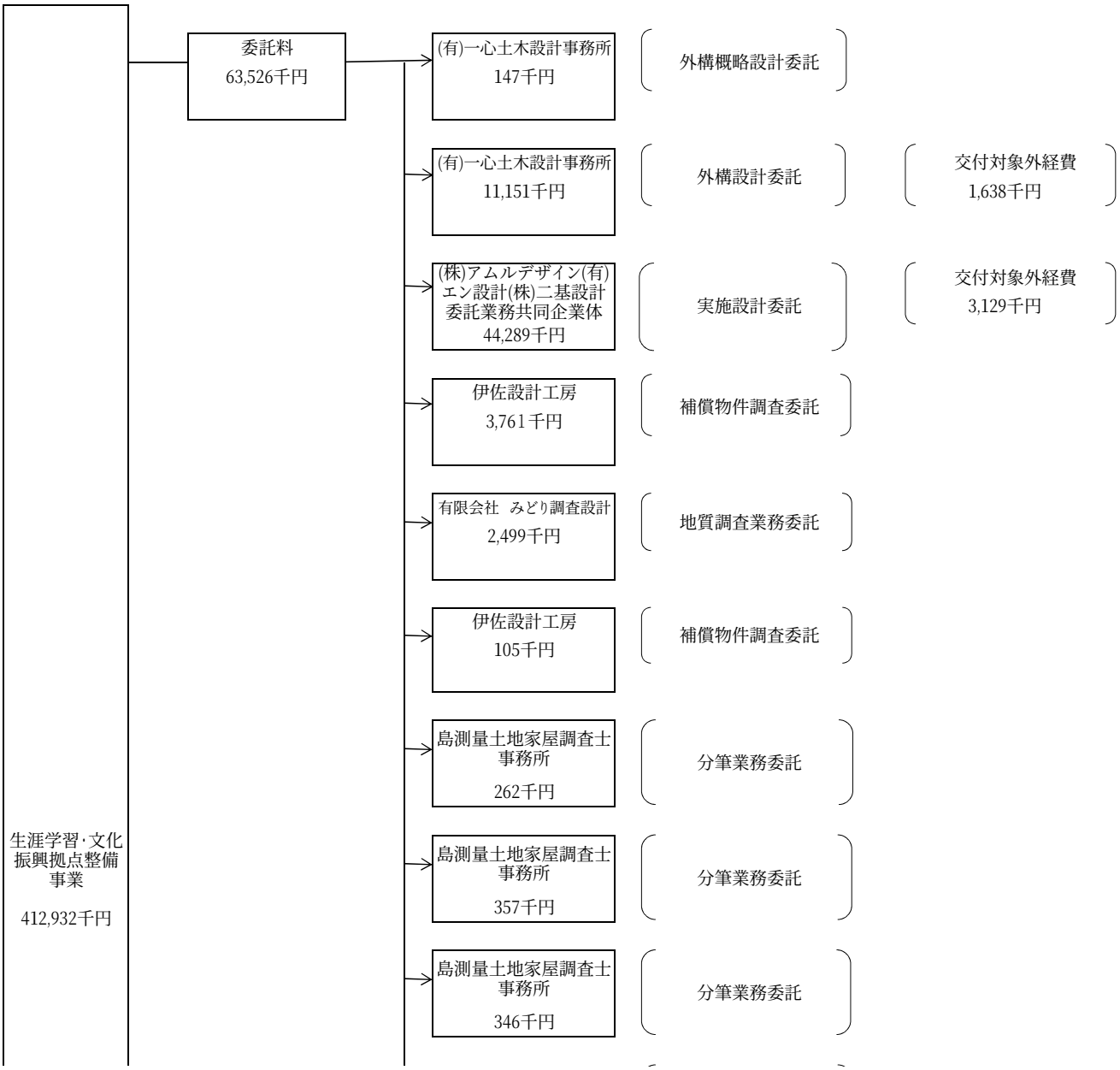
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	事業予定地内で、一部地権者との交渉が難航した。当該地は建物に隣接する重要な位置にあり、計画の大幅な変更が懸念された。	地権者との交渉が難航したことを受け、シミュレーション等により整備計画の再検討をした結果、一部用地の取得でも事業実施が可能と判断し、、それを踏まえ地権者と再交渉を重ね、交渉が難航していた用地の約4割相当の用地の購入が可能となった。 上記を受け、外構設計を現状の用地形状に合うよう設計変更し、建物の実施設計も方向や位置を微調整した。

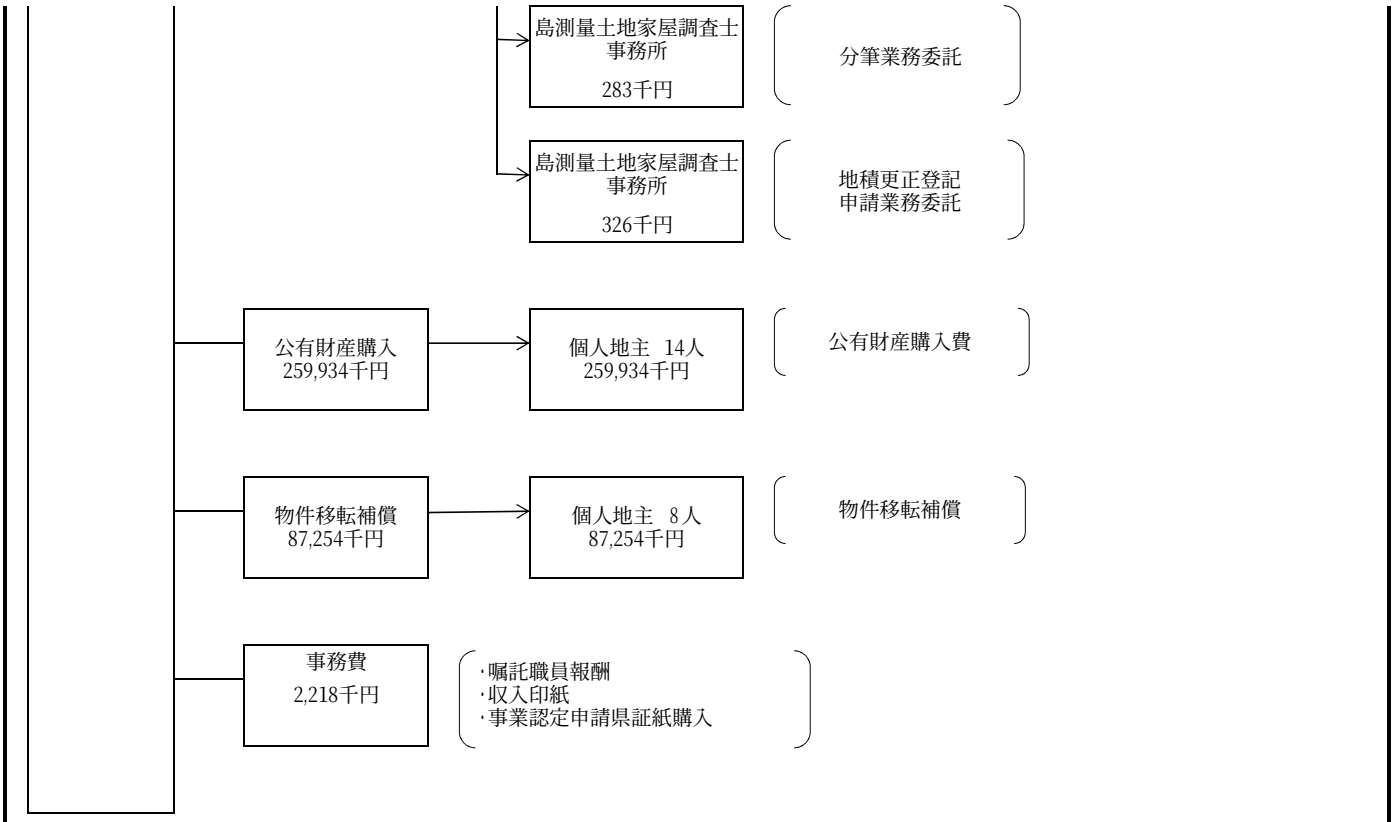
今後の取り組み方針

今後は、建設用地の現況を踏まえ、地権者並びに用地周辺利害関係者との良好な関係を保ち整備を実施していく。
今後の整備については、下記の内容で実施する予定である。
・平成25～26年度 ： 造成工事等
・平成27年度 ： 外構工事及び建築工事の実施

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
417,699	412,932	330,345	82,587	4,767





資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○実施設計はプロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で、受託業者を選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目、使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目･使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	うるま市

平成２４年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	４－③	市内文化財総合整備調査活用事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(4)－ア 沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり
担当部課名	教育部　文化課	事業実施(予定)年度	平成２４～２８年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(2)

事業内容

市内に所在する貴重な歴史資産を再評価するとともに、それらを最大限活用して、文化の薫る高いまちづくりを推進することを目的に、市内の歴史資産の環境整備と総合的な調査を実施する。
平成24年度は、世界遺産である「勝連城跡」の石垣悉皆調査を実施した。また、国指定史跡「仲原遺跡」の竪穴住居復元、安慶名城跡・伊波城跡・嘉手苅観音堂・ヤンガーの樹木伐採等の環境整備工事を実施した。

実施方法

■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	30,000	－			
	(b)予算現額	29,192	－			
	(c)増減額(b-a)	▲ 808	－			
	(d)繰越額	－	12,325			
	A. 計(b+d)	29,192	12,325			
B. 執行済額		16,840	12,325			
うち交付金充当額		13,472	9,860			
次年度繰越額		12,325	－			
執行率（%）(B/A)		57.7%	100.0%			

予算の状況の説明

環境整備工事箇所における地元との調整に不測の日数を要したため繰越すこととなった。
予算を808千円減額しているが、石垣悉皆調査委託料、環境整備設計委託料等の入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
勝連城跡の石垣悉皆調査の実施	目　標	（石垣悉皆調査の実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績	石垣悉皆調査の実施			
市内文化財の環境整備工事の実施	目　標	（環境整備工事の実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績	環境整備工事の実施			

達成状況説明

・将来の整備計画に資するため、世界遺産である「勝連城跡」の石垣悉皆調査を実施し、整備基本計画策定に向けた資料収集を実施した。
・環境整備工事の主な実施内容は、
①仲原遺跡の竪穴住居復元
②安慶名城跡・伊波城跡・嘉手苅観音堂・ヤンガーの樹木伐採等、の環境整備工事を実施した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
勝連城跡の石垣悉皆調査の実施	目　標	（　）	石垣悉皆調査の実施	（　）	（　）	（　）
	実　績		石垣悉皆調査の実施			
市内文化財の環境整備工事の実施	目　標	（　）	環境整備工事の実施	（　）	（　）	（　）
	実　績		環境整備工事の実施			

進捗状況説明

・将来の整備計画に資するため、世界遺産である「勝連城跡」の石垣悉皆調査を実施し、整備基本計画策定に向けた資料収集を実施した。
・環境整備工事の主な実施内容は、
①仲原遺跡の竪穴住居復元
②安慶名城跡・伊波城跡・嘉手苅観音堂・ヤンガーの樹木伐採等、の環境整備工事を実施した。

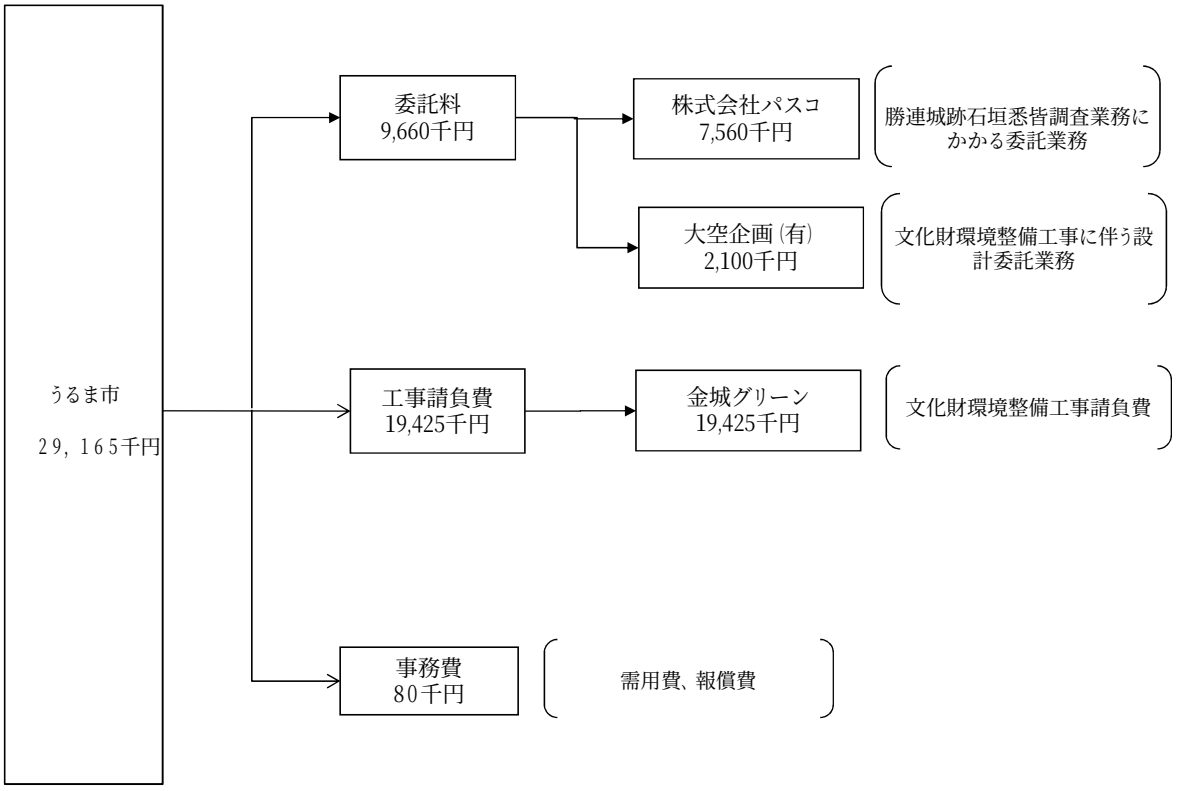
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	歴史資産は、長年の劣化や台風等、沖縄特有の自然環境により劣化や崩壊の危機にあるものも多い。また、観光客のニーズの多様化により、文化財整備の要望も増加している。 このような状況に対応するため、本事業を実施し、一定の成果が得られた。しかしながら、台風の影響により毀損した歴史資産や戦争遺跡等、新たな整備要望がある。	歴史資産の保護や活用、観光客のニーズに対応するため、事業執行に当たっては、柔軟な対応が必要である。

今後の取り組み方針

今後は、各文化財のパトロールや情報収集を強化し、整備などが必要な文化財を早期に把握し、関係機関と調整して事業箇所の変更等を含め、決定していきたい。
今後の整備については、下記の計画で市内の歴史資産の環境整備を実施する予定である。
・H25～H26年度　平成24年度に実施した石垣悉皆調査等の調査検討を基に勝連城跡整備基本計画の策定。
・H25～H28年度市内文化財の環境整備工事の実施。（平敷屋製糖工場跡等の戦争遺跡も実施）
・H25～H28年度展示会やレプリカ製作等の活用事業の実施

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
29,165	29,165	23,332	5,833	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託業務及び、工事請負は、指名競争入札により業者を選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	うるま市

平成２４年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4-⑥	文化施設機能強化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(4)－ウ
					文化活動を支える基盤の形成
担当部課名	教育部　文化課	事業実施(予定)年度	平成２４～２６年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(2)

事業内容	当市の多様な伝統芸能･文化を発信し、優れた芸術文化鑑賞の機会を提供するとともに、「うるま市ならではの文化観光商品」を展開し、本市の文化観光振興を展開するため、うるま市民芸術劇場、きむたかホール、石川会館の設備を整備する。
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	235,140	－			
	(b)予算現額	235,140	－			
	(c)増減額(b-a)	0	－			
	(d)繰越額	－	235,140			
	A. 計(b+d)	235,140	235,140			
B. 執行済額		0	186,407			
うち交付金充当額		0	149,125			
次年度繰越額		235,140	0			
執行率（%）(B/A)		0.0%	79.3%			

予算の状況の説明

専門家、舞台関係者等の関係者から意見･要望があり、設計企画、設備内容、発注等の仕様内容の調整･検討に不測の日数を要したため繰越すこととなった。
不用額が48,000千円余り発生しているが、積算の見直しや入札による減であり当初計画していた事業計画は概ね達成したと考えている。

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
市民芸術劇場の調光卓の更新工事	目　標	（調光卓更新工事）	（　）	（　）	（　）
	実　績	調光卓更新工事完了			
石川会館及びきむたかﾎｰﾙの舞台機構の更新工事	目　標	（舞台機構更新工事）	（　）	（　）	（　）
	実　績	舞台機構更新工事完了			

達成状況説明

平成24年度に計画した事業内容は下記の通りである。
･うるま市民芸術劇場の調光卓関連設備機能強化事業
･石川会館及びきむたかホールの舞台吊物機構機能強化事業
※調光卓とは、舞台照明を操作するための機械設備一式である。
※舞台吊物機構とは、舞台に吊り下げられている照明機器や暗幕、緞帳を上下させるためにシステムであり、モーターやワイヤー、　マニラロープを含む機械設備一式である。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
市民芸術劇場の調光卓更新工事に係る設計及び工事	目　標	（　）	調光卓更新工事に係る設計及び工事	（　）	（　）	（　）
	実　績		調光卓更新工事に係る設計及び工事の完了			
石川会館及びきむかたﾎｰﾙの舞台機構更新工事	目　標	（　）	舞台機構更新工事	（　）	（　）	（　）
	実　績		舞台機構更新工事の完了			

進捗状況説明

平成24年度は下記内容を実施した。
･うるま市民芸術劇場の調光卓の機能強化を実施したことにより、多彩な照明演出が可能となり公演等の質の向上が図られた。
･石川会館及びきむたかホールの舞台吊物機構の機能強化を実施したことにより、よりスムーズで安全な懸垂物の稼働が実現できた。またタッチパネルの導入により操作性が向上するとともに安全性も向上した。

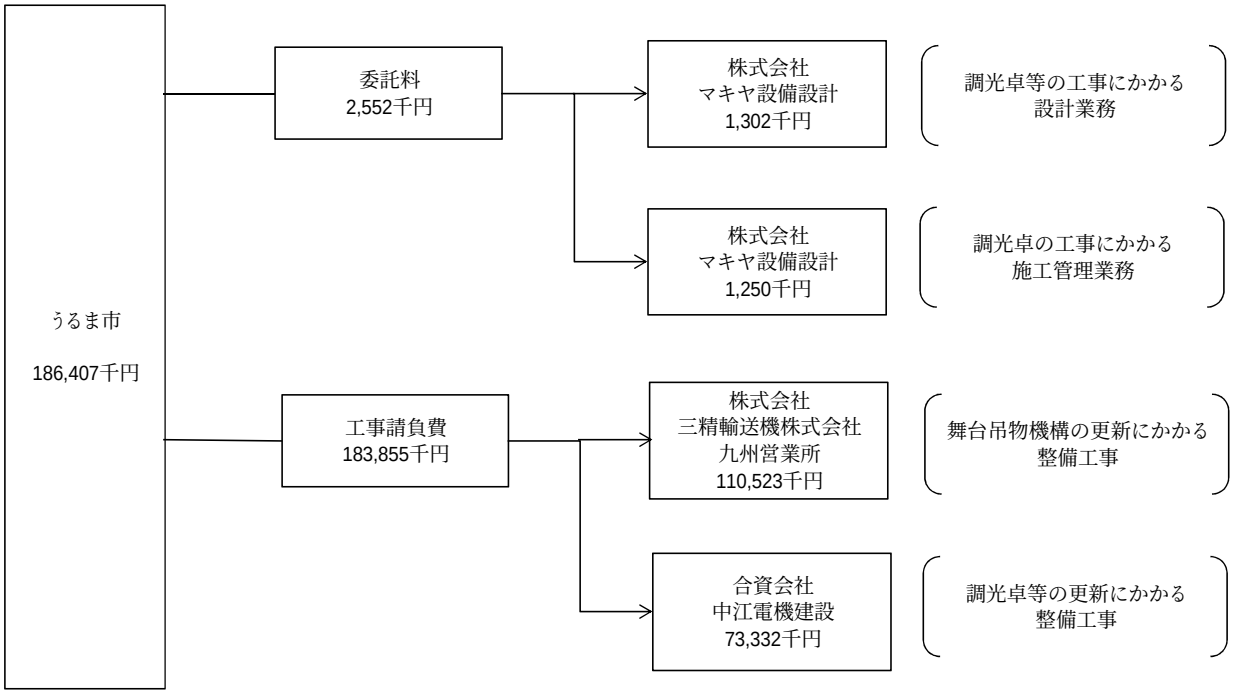
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	事業執行中（工事施工中）に劇場等の使用があり主催者との調整が必要となり、工事施工に支障を来す機会が発生した。	今後の事業施工については、劇場等利用者側とうるま市及び工事受注業者との十分な調整を図り、劇場利用へ支障を来さないよう十分配慮する。

今後の取り組み方針

今後は、整備した機器等の適正な管理を実施し、多様な伝統芸能･文化の発信に努める。
平成25年度以降については、下記の通り機能強化事業を予定しているが、劇場利用者に最大限配慮した工程を設定し劇場稼働に支障をきたさないよう事業を推進する。
･平成25年度　うるま市民芸術劇場の音響卓等の整備
･平成26年度　うるま市民芸術劇場の舞台吊物機構等の整備
＊市内にある劇場の機能強化を図ることで、より質の高い演目を実現できるように、うるま市及びうるま市教育委員会内の運営体制強化を図る必要がある。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
186,407	186,407	149,125	37,282	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○設計及び工事について、受託業者の選定については、競争入札を実施しており、適正であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目･使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	うるま市

平成２４年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4-⑦	文化施設環境整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(4)－ウ 文化活動を支える基盤の形成
担当部課名	教育部　文化課	事業実施(予定)年度	平成２４年～２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(2)
事業内容	地域芸術文化の振興を図るため、うるま市民芸術劇場の機能強化を図る。				
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	95,307	－			
	(b)予算現額	95,307	－			
	(c)増減額(b-a)	0	－			
	(d)繰越額	－	93,807			
	A．計(b+d)	95,307	93,807			
B．執行済額		1,470	93,807			
うち交付金充当額		1,176	75,045			
次年度繰越額		93,807	0			
執行率（%）(B/A)		1.5%	100.0%			

予算の状況の説明：外壁デザイン選定方法の決定にあたり、有識者との調整に不測の日数を要したため繰越すこととなった。
概ね計画通りに実施できたと考えている。

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
市民芸術劇場外壁リニューアルに向けた設計及び工事	目　標	（　設計及び工事　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	設計及び工事の実施			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：外壁のリニューアルにかかる設計及び工事を実施した。
外壁については、うるま市及び沖縄の伝統文化を感じられ、風景と融合する色彩を基準とした設計を実施することができた。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
市民芸術劇場外壁リニューアルに向けた設計及び工事	目　標	（　）	設計及び工事	（　）	（　）	（　）
	実　績		設計及び工事の実施			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：外壁のリニューアルにかかる設計及び工事を実施した。

本市の指定文化財である伊波メンサー織や勝連トラバーチン、赤土を基本に琉球染物をイメージしたタイル等を活用したデザインとしたことで、文化の薫る外壁とすることができた。

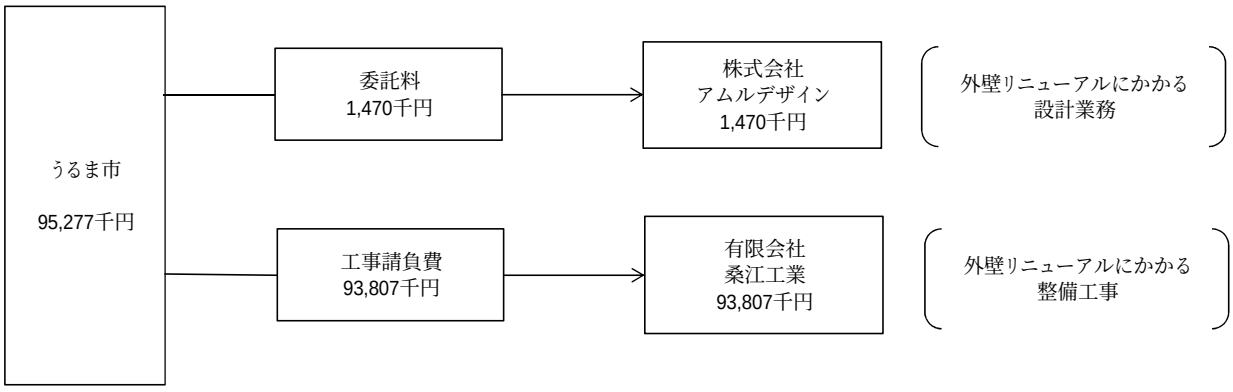
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	外壁工事中にホールを稼働していたが、工事に伴う騒音や振動が劇場内にもれる事態が発生し、利用者から苦情が発生した。	騒音、振動などの苦情発生後においては、工程を施工業者と再検討し劇場利用者に配慮した工事施工を実施し、予定していた環境整備を完了することができた。

今後の取り組み方針

平成25年度事業と合わせ工事を実施し、平成26年3月に完了した。
今後は、本施設を文化発信の拠点として、文化振興を図っていきたい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
95,277	95,277	76,221	19,056	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○設計にかかる委託事業者は公募型プロポーザル方式により文化施設にふさわしく風景等に馴染む設計案であること等を勘案した上選定しており、 また、工事にかかる受託事業者については、競争入札により選定しているため、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	うるま市

平成２４年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4-⑧	南風原文書整理翻刻事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(4)－ア 沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり
担当部課名	教育部　文化課	事業実施(予定)年度	平成２４～２８年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(2)

事業内容

当市の文化振興、人材育成を図るため、「南風原文書」の整理、修復、デジタル化、複製本を作成するとともに翻刻を行い、生涯学習や学校教育の郷土学習教材として提供する。

実施方法

■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	17,536	－			
	(b)予算現額	16,205	－			
	(c)増減額(b-a)	▲ 1,331	－			
	(d)繰越額	－	11,871			
	A. 計(b+d)	16,205	11,871			
B. 執行済額		5,009	11,197			
うち交付金充当額		4,134	8,830			
次年度繰越額		11,871	0			
執行率（%）(B/A)		30.9%	94.3%			

予算の状況の説明

修復する文書の材質と保存の状態がそれぞれの文書で異なることから、修復等に不測の期間を要することとなったため繰越すこととなった。
予算を1,331千円減額しているが、需用費と報酬費、共済費等の残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
南風原文書の保存･修復とデジタル化作業等	目　標	（保存･修復･デジタル化等）	（　）	（　）	（　）
	実　績	保存･修復･デジタル化等の実施			
報告書等発刊	目　標	（報告書発刊）	（　）	（　）	（　）
	実　績	報告書発刊(2件)			

達成状況説明

平成２４年度の取り組みは大きく分けて下記の３点である。
①南風原村文書の修復及び複製･デジタルスキャニング(古文書85冊(3,000枚)、地積図29葉)
②南風原村文書の整理と翻刻の作業
③南風原村文書に関する発刊物の執筆･編集･発刊(発刊件数　2件(200部))

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
南風原文書の修復保全件数	目　標	（　）	（約800件）	（　）	（　）	（　）
	実　績		古文書85冊(3,000枚)･地積図29葉			
所蔵収蔵物のデジタル化	目　標	（　）	所蔵収蔵物のデジタル化	（　）	（　）	（　）
	実　績		所蔵収蔵物のデジタル化の実施			

進捗状況説明

当初、南風原村文書の修復及び複製･デジタルスキャニング3,000枚(地割制度関連古文書及び絵図)の内約800枚を終える予定で進めてきたが、すべての作業を終えることができ、資料の保存･その利活用の作業に取り組むことができた。
また、資料のデジタル化により、原資料の拡大及び色彩等の変更も可能となり、分析及び複製本の発刊が容易になるため、広く一般市民へ画像の閲覧の環境が整備でき、教育教材の他に歴史景観の保全及び地域づくりへの活用も可能となった。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	①沖縄県指定文化財の勝連間切南風原村文書は市民の関心が高かったが、これまで整理・翻刻されていなかった。 ②また、南風原村文書の内容が不明な点が多く、市民へ情報提供もできず、学校教育及び生涯学習においても還元されることが実施できなかった。	①南風原村文書は市民の関心が高く、その要望に応える作業が必要である。その対応には文書の枚数及び解読する分量が多い為、今後も継続的に整理・翻刻する作業が求められる。 ②その観点からうるま市の次世代を担う子どもたちへ学校教育を通し、歴史や伝統文化に関する教育普及活動の展開が求められる。

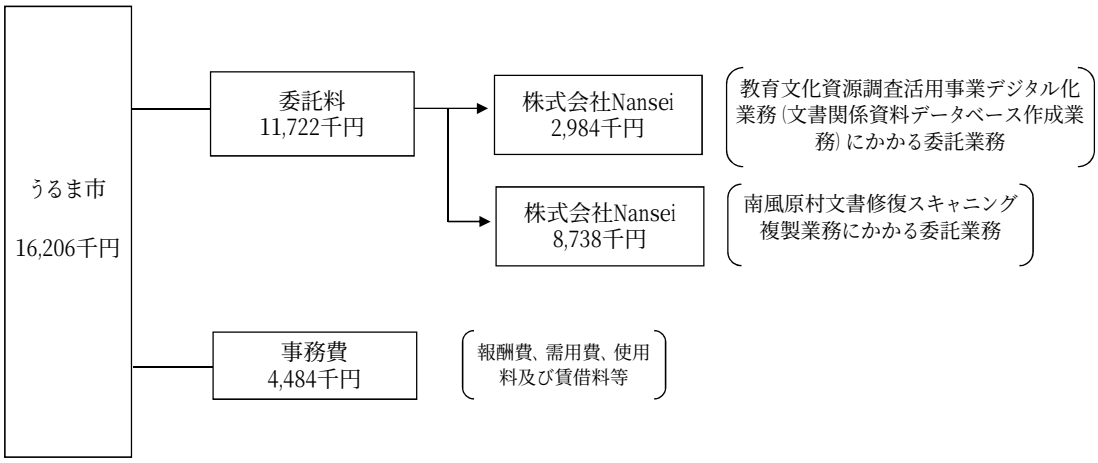
今後の取り組み方針

平成25年度では、①「南風原文書等史料（ノロ文書等）修復スキャニング複製」、②「南風原文書出張講演会」、③「ビジュアル版印刷製本」、④展示、⑤整理・翻刻等の事業に取り組む。
また、今後は南風原村文書の整理・翻刻作業及びその修復等を実施し、南風原村文書に関する教育普及活動の事業を展開していく。

※南風原村のノロ文書とは、大正時代から戦前にかけて村と勝連城跡、その他の祭事に関する記録があり、その関連性を結びつけられる貴重な史料である。また、それは南風原村文書（地割日記等）と同様に沖縄県内でも珍しい記録であり、南風原村の歴史を残している。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
16,206	16,206	12,964	3,242	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は企業組織、実績、知識、文化財保護法に基づく修復経験等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	うるま市

平成２４年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4-⑩	景観調査活用事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(4)－ア 沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり
担当部課名	教育部　文化課	事業実施(予定)年度	平成２４～２８年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(2)

事業内容	勝連城跡及びその周辺の自然･民俗文化財、具志川及び照間のい草水田、海中道路とその周辺の干潟に依存する生業･伝統行事･生物等を記録･保存し、郷土教育や観光案内に利活用できる資料を発刊･提供することにより、教育及び観光の振興を図る。
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	14,982	－			
	(b)予算現額	14,048	－			
	(c)増減額(b-a)	▲ 934	－			
	(d)繰越額	－	2,065			
	A. 計(b+d)	14,048	2,065			
B. 執行済額		12,253	1,795			
うち交付金充当額		9,839	1,399			
次年度繰越額		2,065	0			
執行率（%）(B/A)		87.2%	86.9%			

予算の状況の説明

調査地や専門分野の調査方式において、有識者から調査箇所や調査項目の追加について意見があり、その調整及び検討に不測の時間を要したため繰越すこととなった。
予算を934千円減額しているが、報酬費と共済費、役務費等の残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
文化的景観に関するい草等の悉皆調査、小動物等調査及び目録作成	目　標	自然標本　70点 文化的景観等記録　2件	（　）	（　）	（　）
	実　績	自然標本　80点 文化的景観等記録　3件			
本事業関連の所蔵資料の整理業務	目　標	（所蔵資料の整理業務）	（　）	（　）	（　）
	実　績	所蔵資料の整理 (収蔵物デジタル化)			

達成状況説明

平成24年度の取り組みは大きくわけて下記の3点である。
①勝連城跡周辺の小動物等に関するデータを得る為の調査
②文化的景観に関連する南風原集落等の歴史･文化及び照間集落のい草に関するデータを得る為の調査
③資料館が所蔵する資料(写真等)を整理し、デジタル化(収蔵物デジタル化8,000点)

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
･勝連城跡周辺小動物目録等 ･所蔵収蔵物のデジタル化	目　標	（　）	小動物目録作成･デジタル化等	（　）	（　）	（　）
	実　績		小動物目録　1件･収蔵物のデジタル化　8,000点			
･文化的景観に関する講演会 ･い草のリーフレット発行	目　標	（　）	（講演会 発刊物）	（　）	（　）	（　）
	実　績		講演会1回 発刊物1件			

進捗状況説明

勝連城跡周辺における小動物調査を実施することにより、その地域に生息する分布図及びその目録が作成することができた。そのデータは今後の環境教育及び文化財保護の教育普及活動へ利活用が可能となる。
また、収蔵物のデジタル化を実施したことで、原資料の拡大及び色彩等の変更も可能となり、分析及び複製本の発刊が容易になるため、広く一般市民が画像の閲覧できる環境を整備することができ、教育教材の他に自然環境の保全及び地域づくりへの活用も可能となった。

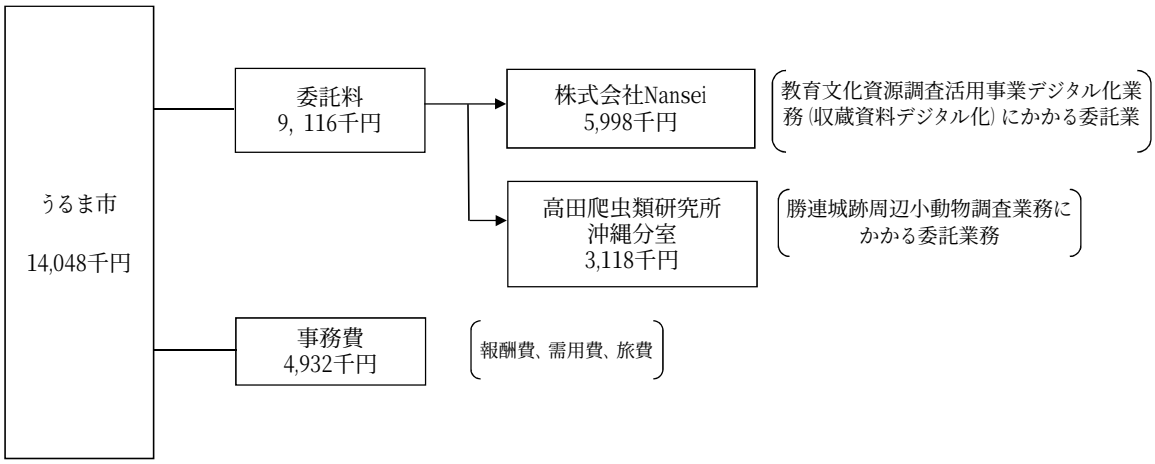
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	①世界遺産・勝連城跡に関連した南風原集落・西原集落ならびにい草地域で有名な照間集落は、市民の歴史的・文化的な関心が高かったが、これまで調査及び資料の収集がなかなか進められなかった。 ②また、自然関連やい草に関する生活習俗等の内容の不明な点が多く、市民へ情報提供もできず、学校教育及び生涯学習においても還元されることが実施できなかった。	①世界遺産・勝連城跡及びその周辺地域の自然・歴史・文化は市民の関心が高く、その要望に応える作業が必要である。その対応には様々な専門家の協力・助言及び調査の実施が欠かせない。今後も継続的に資料の収集とその整理等が求められる。 ②それらの観点からうるま市の次世代を担う子どもたちへ学校教育及び生涯学習を通し、自然・歴史・文化に関する教育普及活動の展開が求められる。

今後の取り組み方針

平成25年度では、①勝連城跡とその周辺の小動物・植物調査、②南風原集落・西原集落・照間集落等の民俗行事調査、③照間集落のい草に関する民俗調査、④講演会及び展示会等の事業に取り組む。
また、今後は下記取り組みを重点的に実施する予定である。
①勝連城跡とその周辺に関する自然調査及びその記録作成を実施
②勝連城跡とその周辺に関する歴史・文化に関する調査及びその記録作成を実施
③それらに関連する教育普及活動の事業を展開する

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
14,048	14,048	11,238	2,810	0



資金の流れ、費目・使途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は企業組織、実績、知識、文化財保護法に基づく整理・調査経験等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	うるま市

平成２４年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4-⑬	文化財標柱等設置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(5)－ア 文化資源を活用したまちづくり
担当部課名	教育部　文化課	事業実施(予定)年度	平成２４～２７年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(2)
事業内容	市内の文化財･旧跡等に標柱等を設置し、市民･観光客が広く活用しやすい環境を作る。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	20,000	－			
	(b)予算現額	20,000	－			
	(c)増減額(b-a)	0	－			
	(d)繰越額	－	20,000			
	A．計(b+d)	20,000	20,000			
B．執行済額		0	19,763			
うち交付金充当額		0	15,810			
次年度繰越額		20,000	－			
執行率（%）(B/A)		0.0%	98.8%			
予算の状況の説明		標柱等設置箇所に伴い、有識者や自治会より要望や意見が多数あり、その調整に不測の日数を要したため繰越すこととなった。 平成24年度繰越額から237千円の不用額が発生したが、設計業務委託料や工事請負費の入札残等によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施したほか、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。				

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
標柱等設置工事に向けた設計業務の実施	目　標	（設計業務の実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績	設計業務の実施			
設置工事件数	目　標	（93件(累計)）	（　）	（　）	（　）
	実　績	93件(累計)			

達成状況説明：目標の93件の内、53件は平成24年度以前までに設置した標柱等の件数であり、平成24年度については、以下の40件を市内の文化財･旧跡等に標柱、誘導板、説明板を設置した。
- ･標柱　３０件
- ･誘導版　５件
- ･説明版　５件

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
標柱等設置工事に向けた設計業務の実施	目　標	（　）	（設計業務の実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績		設計業務の実施			
設置工事件数	目　標	（53件）	（93件(累計)）	（　）	（　）	（　）
	実　績		93件(累計)			

進捗状況説明：目標の93件の内、53件は平成24年度以前までに設置した標柱等の件数であり、平成24年度については、以下の40件を市内の文化財･旧跡等に標柱、誘導板、説明板を設置した。
- ･標柱　３０件
- ･誘導版　５件
- ･説明版　５件

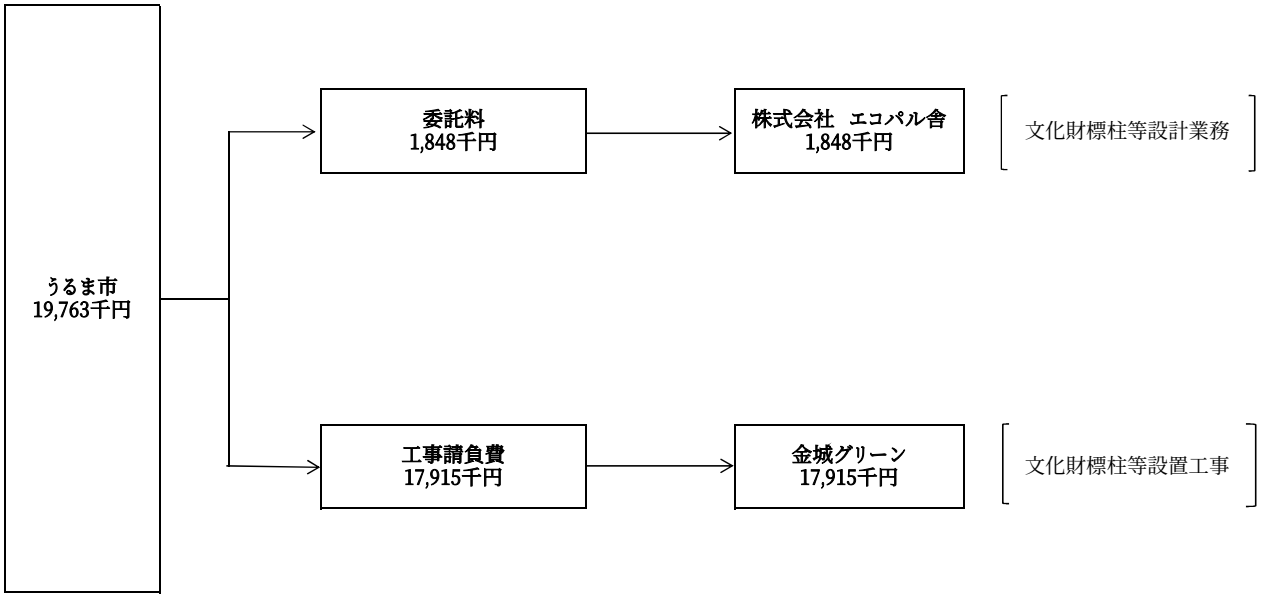
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	世界遺産である「勝連城跡」をはじめ、貴重な歴史資産を再評価するとともに、これらを活用し、市民や観光客が文化に親しむ環境を整備するため、市内の文化財・旧跡等に標柱等設置事業を行った。 多くの自治会から設置要望が寄せられており、事業の継続が必要である。	設置箇所の調整・確認、、説明板の内容等、地元自治会との調整に時間を要するため、計画的な実施が必要である。

今後の取り組み方針

・地元との調整に時間を要するため、今後は順次早めの内容調整に努め事業を実施していく。
・市民・観光客が広く活用しやすい環境を作るため、今後も市内の文化財・旧跡等に標柱等設置に向けた設計業務と設置工事を実施していく予定である。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
19,763	19,763	15,810	3,953	0



資金の流れ、費目・使途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託業務及び、工事請負は、指名競争入札により業者を選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	うるま市

平成２４年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4-⑭	蔡大鼎（サイタイテイ）「伊計村遊草（イケイムラユウソウ）」等調査研究事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(4)－ア 沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり
担当部課名	教育部　図書館	事業実施(予定)年度	平成２４～２６年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(2)

事業内容

「伊計村遊草（ｲｹｲﾑﾗﾕｳｿｳ）」と著者である蔡大鼎（ｻｲﾀｲﾃｲ）に関する調査･研究を進め、難解な漢文体の歴史史料を現代の教育文化に活用できるようカラー復刻版や翻刻解説本などを刊行することによって、伝統文化の保全･継承を図る。

実施方法

■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	11,750	－			
	(b)予算現額	11,542	－			
	(c)増減額(b-a)	▲ 208	－			
	(d)繰越額	－	8,062			
	A. 計(b+d)	11,542	8,062			
B. 執行済額		3,068	3,251			
うち交付金充当額		2,552	2,503			
次年度繰越額		8,062	0			
執行率（%）(B/A)		26.6%	40.3%			

予算の状況の説明

貴重な歴史史料原本を取り扱うため、原本所蔵機関への手続きや諸作業（スキャニング、複製本の作成等）等に不測の時間を要することとなったため繰越すこととなった。
不用額が発生しているが、報償費、需用費の残額および委託料の入札残によるものであり、当初計画していた事業内容は実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
･原本展示会の開催 ･講演会の開催	目　標	原本展示会　(1回) 講演会の開催(1回)	( )	( )	( )
	実　績	原本展示会(1回) 講演会の開催(1回)			
･カラー複製本の発刊	目　標	(　各5部以内　)	( )	( )	( )
	実　績	各1部 ※写真版各100部			

達成状況説明

平成２４年度の取り組みは大きく分けて、次の４点である。
①県外史料所蔵機関への調査の実施
②原本史料の借用･展示、専門研究者による講演会(1回)を実施
③調査概要等をニューズレターとして「うるま漢詩ロード散策」を発行(2000部)
④県外機関に所蔵されている史料を県内においても見ることが可能になるよう複製本を作成(100部×2種)。以上の４点が主な取り組みである。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
「伊計村遊草」等原本史料展示会･講演会来場者数	目　標	( )	(　600人　)	( )	( )	( )
	実　績		813人			
	目　標	( )	( )	( )	( )	( )
	実　績					

進捗状況説明

県外史料所蔵機関への調査によって、「伊計村遊草」及びその著者蔡大鼎に関わる史料を新たに確認することができた。原本史料展示会では「伊計村遊草」及びそれらの史料を展示することができた。また、専門研究者による講演会を開催することで、市民に原本史料の持つ魅力を味わってもらうことができた。

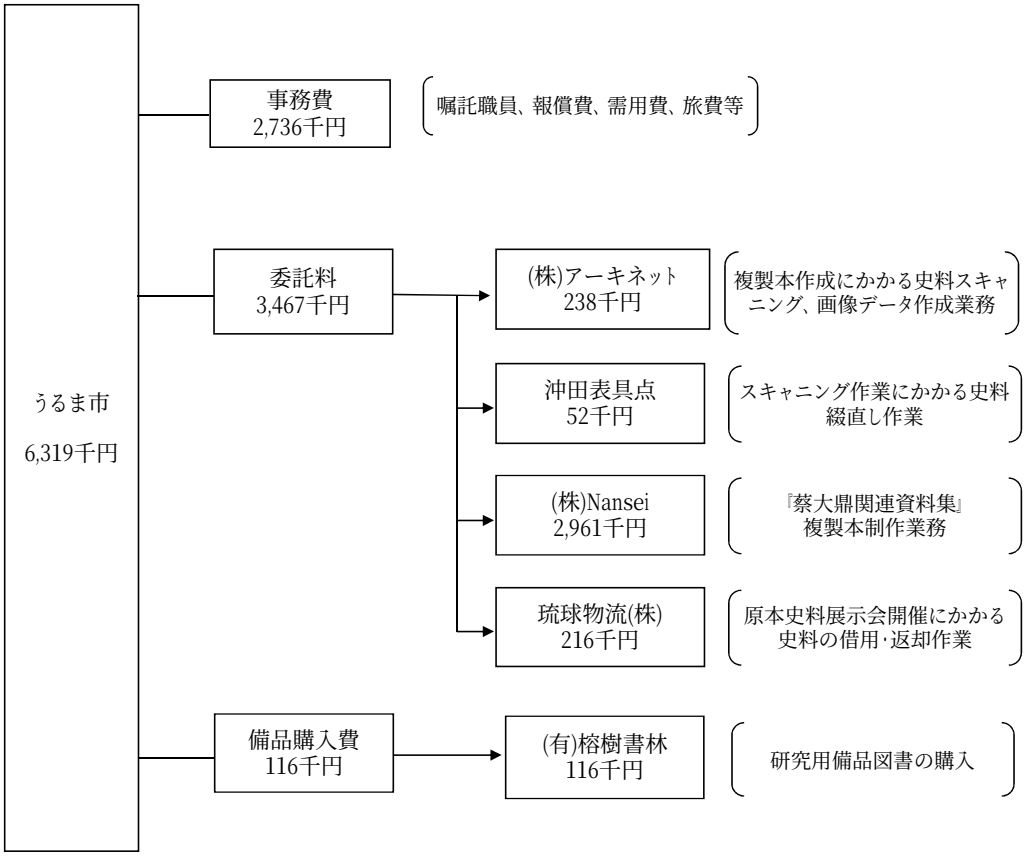
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	①うるま市に関する新たな歴史史料「伊計村遊草」が確認された。 ②「伊計村遊草」とその著者である蔡大鼎に関する調査・研究は十分になされているとはいえない。 ③「伊計村遊草」をはじめとする関連史料が県外にあり、県外調査が避けられない。	①講演会のアンケートにて「地域関係史料を掘り起こし、どんどん発表・公表していただきたい」「本事業の調査研究が進み、内容が明らかにされることを期待している」等の意見も寄せられており、引き続き調査・研究を進める必要がある。 ②教育文化・観光資源として転化するためには、「伊計村遊草」にて詠まれた漢詩の内容をわかりやすく紹介する必要がある。

今後の取り組み方針

平成２５年度は、①県外史料所蔵機関への調査、②原本史料展示会及び専門研究者による講演会、③「伊計村遊草」訳注解説本の発行に向けて取り組む。
歴史史料を教育文化等に活用し、伝統文化の保存・継承に努める。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
6,319	6,319	5,055	1,264	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、競争入札による選定及び、原本所蔵機関との調整を踏まえ専門的技術等を勘案した上で、随意契約（地方自治法施行令第167条の２第１項１号・うるま市契約規則第44条に基づく）しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	うるま市

平成２４年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	5-②	伊計海岸周辺環境整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ウ
					観光客の受入体制の整備
担当部課名	建設部　土木課	事業実施(予定)年度	平成２４～２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容	伊計海岸西側付近の砂浜は、当市の貴重な観光財産であるが、台風等の高波による砂浜の侵食が進行しており、砂浜と背後地の保全措置及び、観光地としての景観を保全するため、自然石被覆護岸を整備する。
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	28,000	－			
	(b)予算現額	28,000	－			
	(c)増減額(b-a)	0	－			
	(d)繰越額	－	26,404			
	A．計(b+d)	28,000	26,404			
B．執行済額		1,596	25,074			
うち交付金充当額		1,276	20,060			
次年度繰越額		26,404	5,359			
執行率（%）(B/A)		5.7%	95.0%			

予算の状況の説明

工事にあたり岩礁破砕許可申請同意を必要とするが、組合同意に必要な調整に不測の日数を要したため繰越すこととなった。
現場の施工条件(気象等)により当初予定していなかった締切工(波を遮る工事)が必要となったことから、平成24年度の施工延長を縮小し、平成25年度に追加工事を実施することとなったが、当初計画の事業内容に近い形で実施でき、次期工事を考慮すると活動目標、成果目標の達成状況からも適正であったと考える。

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
自然石被覆護岸工事の実施(整備状況　高さ3.0m　延長70.0m)	目　標	工事の実施(高さ3.0m　延長70.0m)	(　)	(　)	(　)
	実　績	工事の実施(高さ3.0m　延長50.0m)			
	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績				

達成状況説明

直立式護岸L=30.0m、傾斜護岸L=20.0m、施工延長計L=50.0mの工事を実施した。
工事においては、途中、台風通過や冬型の気圧配置(波浪)による影響から、構造物の基礎を構築する際に、波を遮る締切工が必要となったため、計画延長の70mを50mに縮小し、工事を実施した。
なお、当初計画から実施できなかった20mに関しては、25年度にて実施を予定している。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
自然石被覆護岸工事の実施(整備状況　高さ3.0m　延長70.0m)	目　標	(　)	工事の実施(高さ3.0m　延長70.0m)	(　)	(　)	(　)
	実　績		工事の実施(高さ3.0m　延長50.0m)			
【参考指標】	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績					

進捗状況説明

台風や波浪の影響を受けたため、当初の進捗よりも遅れが生じていたが、工事延長減により当該年度の目標のうちL=50m整備は完了した。
平成25年度に予定している工事をもって完了予定である。

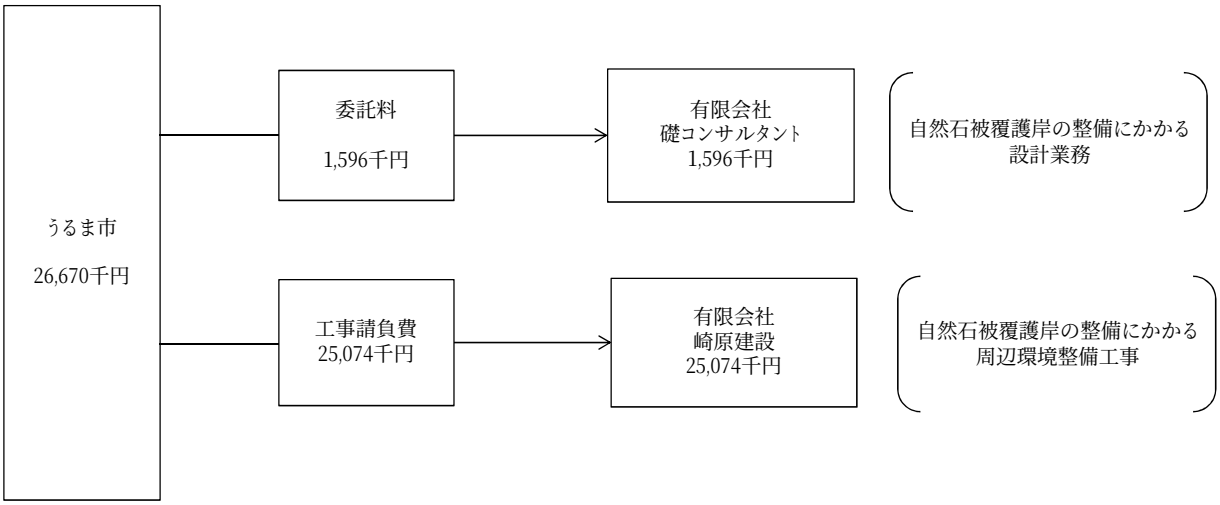
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	まだ施工途中であるはあるが、台風によって浸食された背後地を復元でき、ビーチとして広く利用される環境整備ができた。 自然石を用いた護岸構築であることから、海岸周辺の環境に溶け込んだ景観になっている。	護岸構築により、ビーチ内の砂がどのような形で留まるのか(あるいは流出するのか)がはっきりわからないため、経過観察は必要であると考える。ただし、自然条件に依存するところが大きいことから、次期工事の完成を踏まえ検討する。

今後の取り組み方針

次期工事において、砂浜と背後地の保全措置及び、観光地としての景観を保全するために必要な箇所の追加工事を実施する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
26,670	26,670	21,336	5,334	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・工事を着手後、現場条件ならびに気象条件に合った締切工(仮設工)の設置について検討する必要が発生した。 ・施工箇所が海岸ということもあり、設計時の条件と施工時の条件(季節や台風による)が特殊であることから、今後はより慎重に施工計画を行いたい。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	うるま市

平成２４年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	６-②	津堅･島おこし支援事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－３－(12)－ア
					観光リゾート産業の振興
担当部課名	企画部　企画課	事業実施(予定)年度	平成２４～２７年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－９

事業内容	津堅島において、安心して暮らせる島づくりを推進するために、ワークショップを開催し、地域資源を活用した島民主体の地域おこしに繋げていく仕掛けづくりとサポートを実施する。
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	10,148	－			
	(b)予算現額	8,130	－			
	(c)増減額(b-a)	▲ 2,018	－			
	(d)繰越額	0	8,000			
	A. 計(b+d)	8,130	8,000			
B. 執行済額		56	8,000			
うち交付金充当額		44	6,400			
次年度繰越額		8,000	0			
執行率（%）(B/A)		0.7%	100.0%			

予算の状況の説明：住民参加型の事業(住民ワークショップ、先進地視察等)であり、地域行事等に配慮しながら日程の調整を行う必要があったこと、及びそれに伴い調査報告書の作成などに不測の時間を要することとなったため繰越すこととなった。
2,018千円の減額補正については、臨時職員賃金の全減や委託経費の契約実績に基づく削減によるものである。
不用額74千円については、旅費等が当初予定より安価で収まったためであるが、事業内容に関しては当初予定のとおりすべて実施できた。

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
津堅島現地調査回数	目　標	(　2回　)	(　)	(　)	(　)
	実　績	2回			
住民等の参画によるワークショップ等の開催回数	目　標	(　4回　)	(　)	(　)	(　)
	実　績	6回			

達成状況説明：
・現地調査の2回目は、地域住民(35名)に行政職員(12名)、各分野の専門家(6名)を交えて、島内を歩き回り島の魅力･課題の整理を行った。
・ワークショップ等の内訳については、ワークショップ2回(第1回:13名、第2回:6名)、島おこし講演会2回(第1回:16名、第2回:16名)、先進地視察2回(第1回:7名、第2回:25名)である。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
津堅島現地調査回数	目　標	(　)	(　2回　)	(　)	(　)	(　)
	実　績		2回			
住民等の参画によるワークショップ等の開催回数	目　標	(　)	(　4回　)	(　)	(　)	(　)
	実　績		6回			

進捗状況説明：
・ワークショップや講演会、先進地視察をそれぞれ2回ずつ行ったが、いずれも2回目の参加者数は同数もしくは増加し、地域住民の意識や関心が高まり、島の活性化へ積極的に取り組みたいとの意見も出されるようになっている。

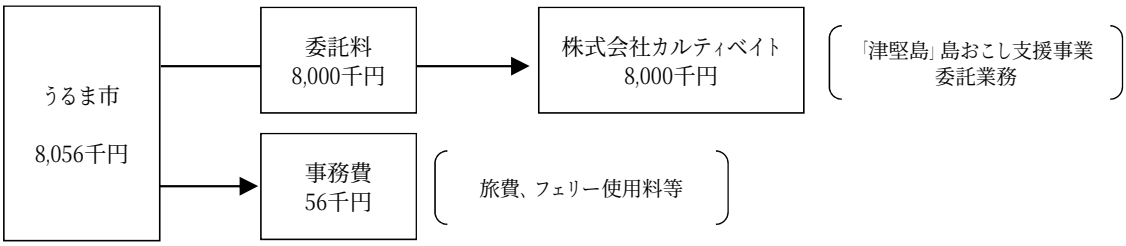
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・津堅島はうるま市唯一の離島であり、人口流出や就業の場が少ないこと、ごみ処理問題といった離島特有の課題に対して、住民主体の課題解決及び島の活性化が必要とされている。 ・当初、住民サイドには本事務事業に対し懐疑的な雰囲気もあったが、行政サイドやコンサル事業者の取り組みにより、島の活性化（環境美化活動や民泊等）に向け、積極的に取り組みたいとの意見も出されるようになっている。	・本事務事業は、平成27年度までの期間限定の継続事業を想定しており、その間はフォローアップ事業として実施していく予定である。また、今後は平成24年度の事業成果（コンサル事業者からの事業報告書）を基に、地域振興にとって必要な施策（環境改善、観光振興等）を庁内関係部署と連携し、実施していきたいと考えている。

今後の取り組み方針

・本事務事業の成果を出すためには、庁内の関係部署間の連携に加え、住民意識の啓発・やる気を引き出すことが必要不可欠と考えている。なお、庁内の関係部署間の連携については、企画サイドで今回の事業の主旨を丁寧に説明し、関係各課と定期的な調整会議などを実施していきたいと考えている。住民意識については、平成24年度の事業報告書で提起された支援策（施策案）を着実に実施することにより、高めていきたいと考えている。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
8,056	8,056	6,444	1,612	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績等を勘案したうえで選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模については、概ね適正な規模と考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	うるま市

平成２４年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	7-①	石川野球場及び周辺環境整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(1)－イ 「スポーツアイランド沖縄」の形成
担当部課名	教育部　生涯スポーツ課	事業実施(予定)年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容

韓国プロ野球LGツインズのメインキャンプ場である石川野球場は、両翼が92mとプロ野球の試合をするには狭く、オープン戦等も開催できない状況であるため、両翼の拡張工事、外野芝生の張替、スタンドの改修などを実施する。

実施方法

■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	272,039	－			
	(b)予算現額	272,039	－			
	(c)増減額(b-a)	0	－			
	(d)繰越額	－	233,347			
	A．計(b+d)	272,039	233,347			
B．執行済額		38,644	232,753			
うち交付金充当額		30,915	186,202			
次年度繰越額		233,347				
執行率（%）(B/A)		14.2%	99.7%			

予算の状況の説明

キャンプ場として利用している球団から、キャンプ期間中(2月6日～3月6日)の工事中止の要望があり、工事着工及び工期変更に不測の日数を要したため繰越すこととなった。
不用額が643千円発生しているが、入札残等によるものであり、当初計画していた事業は実施した他、活動目標･成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。

活動目標(指標)及び達成状況

		達成状況			
		24年度	25年度	26年度	27年度
同球場の機能強化に向けた設計及び工事の実施	目　標	（設計及び工事の実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績	設計及び工事の実施			
野球場乗用整地機1台及び乗用草刈機1台の購入	目　標	乗用整地機及び乗用草刈機の購入	（　）	（　）	（　）
	実　績	乗用整地機及び乗用草刈機の購入			

達成状況説明

＜工事の主な実施内容＞
1) 野球場両翼拡張(92m→95m)
2) 外野芝生張替（9,380㎡)
3) 外野防球ネット工事(1,253㎡)
4) 電光掲示板改修工事(1式)
5) 石川野球場管理棟の改修　等の整備を実施した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
同球場の機能強化に向けた設計及び工事の実施	目　標	（　）	設計及び工事の実施	（　）	（　）	（　）
	実　績		設計及び工事の実施			
野球場乗用整地機1台及び乗用草刈機1台の購入	目　標	（　）	乗用整地機及び乗用草刈機の購入	（　）	（　）	（　）
	実　績		乗用整地機及び乗用草刈機の購入			

進捗状況説明

＜工事の主な実施内容＞
1) 野球場両翼拡張(92m→95m)
2) 外野芝生張替（9,380㎡)
3) 外野防球ネット工事(1,253㎡)
4) 電光掲示板改修工事(1式)
5) 石川野球場管理棟の改修　等の整備を実施した。

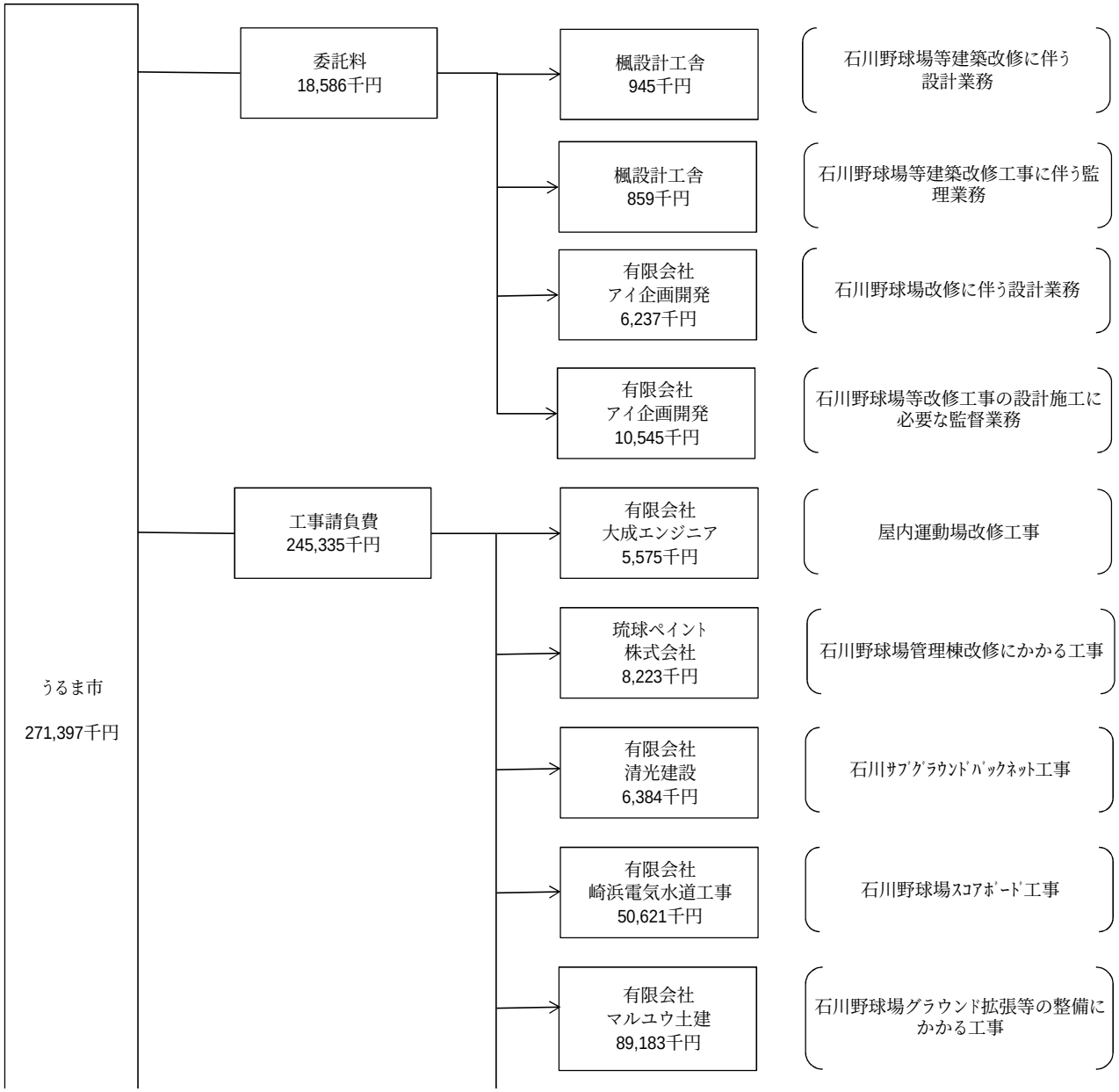
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	石川野球場の機能強化事業を行うことで、プロ野球キャンプへの対応力が増強されるとともに、県外高校･大学野球チームの合宿の問い合わも増加傾向にある。大規模な大会への適応度も増加した。	石川野球場は機能強化後、長期的にどう維持管理していくかの検討が必要である。又、関係部署との連携を図りながら、観光を含めたスポーツツーリズム活動の周知も検討を要する。

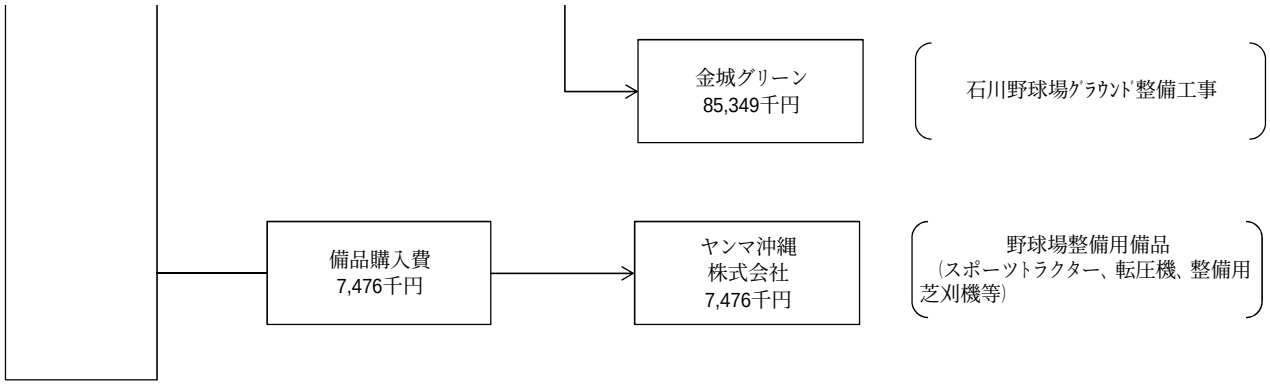
今後の取り組み方針

機能強化事業遂行により、プロ野球キャンプやオープン戦･交流戦の開催、県外高校･大学野球チームの合宿等を受け入れることにより、地域の活性化につなげたい。青少年へ与える影響も大きく学生スポーツの強化、育成も見込まれるため、長期的な保守管理計画をたてて円滑な施設運営を図りたい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
271,397	271,397	217,117	54,280	0





資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業目的達成の観点より予算を執行しており、適正であり、妥当と考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目･使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	うるま市

平成２４年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	7-②	具志川野球場及び周辺環境整備事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－２－（1）－イ 「スポーツアイランド沖縄」の形成
担当部課名	教育部　生涯スポーツ課	事業実施（予定）年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１－（1）

事業内容	韓国プロ野球ＳＫワイバンズのメインキャンプ場である具志川野球場は、オープン戦や交流戦等の開催条件が整備されていない状況であるため、防球ネットや内外野をメンテナンスする機械整備などを実施する。
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度（繰越）	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	141,311	-			
	(b)予算現額	141,311	-			
	(c)増減額(b-a)	0	-			
	(d)繰越額	―	71,339			
	A．計(b+d)	141,311	71,339			
B．執行済額		69,970	71,333			
うち交付金充当額		55,976	57,066			
次年度繰越額		71,339				
執行率（%）(B/A)		49.5%	100.0%			

予算の状況の説明

キャンプ場として利用している球団から、キャンプ期間中（2月6日～3月6日）の工事中止の要望があり、工事着工及び工期変更に不測の日数を要したため繰越すこととなった。
不用額が8千円発生しているが、入札残等によるものであり、当初計画していた事業は実施した他、活動目標･成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
同球場の機能強化に向けた設計及び工事の実施	目　標	（設計及び工事の実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績	設計及び工事の実施			
野球場乗用整地機1台及び乗用草刈機1台の購入	目　標	（乗用整地機及び乗用草刈機の購入）	（　）	（　）	（　）
	実　績	乗用整地機及び乗用草刈機の購入			

達成状況説明

＜工事の主な実施内容＞
1）防球ネット設置工事(217m)
2）外野芝生張替工事（9,730㎡）
3）安全ラバーフェンス設置工事（304m）
4）電光掲示板改修工事（1式）
5）具志川野球場管理棟の改修　等の整備を実施した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
同球場の機能強化に向けた設計及び工事の実施	目　標	（　）	設計及び工事の実施	（　）	（　）	（　）
	実　績		設計及び工事の実施			
野球場乗用整地機1台及び乗用草刈機1台の購入	目　標	（　）	乗用整地機及び乗用草刈機の購入	（　）	（　）	（　）
	実　績		乗用整地機及び乗用草刈機の購入			

進捗状況説明

＜工事の主な実施内容＞
1）防球ネット設置工事(217m)
2）外野芝生張替工事（9,730㎡）
3）安全ラバーフェンス設置工事（304m）
4）電光掲示板改修工事（1式）
5）具志川野球場管理棟の改修　等の整備を実施した。

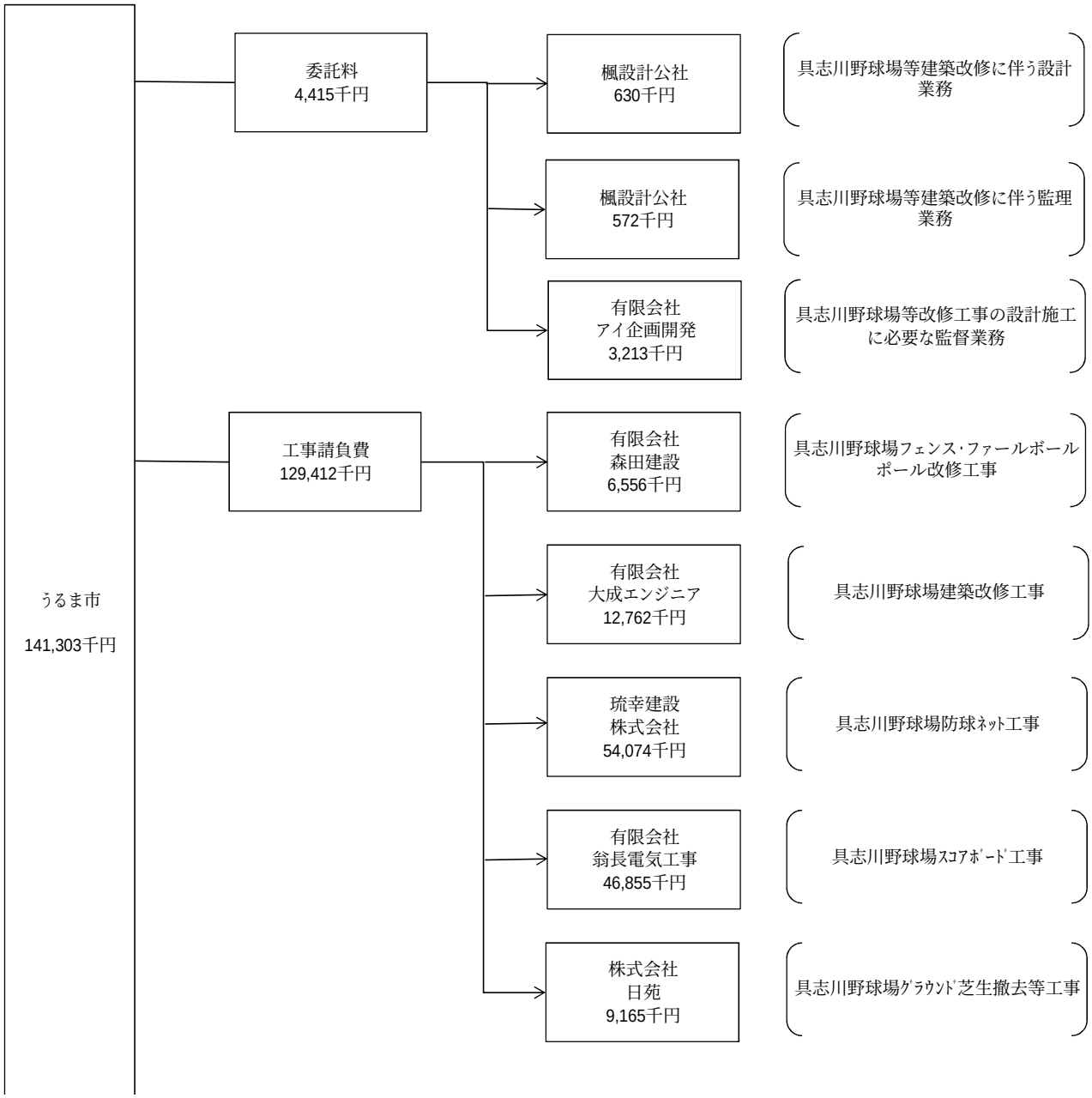
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	具志川野球場の機能強化事業を行うことで、プロ野球キャンプへの対応力が強化されるとともに、県外高校･大学野球チームの合宿の問い合わも増加傾向にある。また、大規模な大会への適応度も増加した。	具志川野球場は機能強化後、長期的にどう維持管理していくかの検討が必要である。又、関係部署との連携を図りながら、観光を含めたスポーツツーリズム活動の周知も検討を要する。

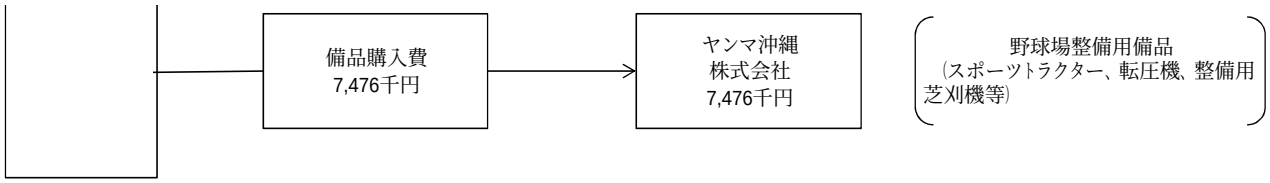
今後の取り組み方針

機能強化事業遂行により、プロ野球キャンプやオープン戦･交流戦の開催、県外高校･大学野球チームの合宿等を受け入れることにより、地域の活性化につなげたい。青少年へ与える影響も大きく学生スポーツの強化、育成も見込まれるため、長期的な保守管理計画をたてて円滑な施設運営を図りたい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
141,303	141,303	113,042	28,261	0





資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業目的達成の観点より予算を執行しており、適正であり、妥当と考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目･使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	うるま市

平成２４年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	8-①	桃原地区小型漁船用通路機能強化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-イ
					農林水産業の振興
担当部課名	経済部　農水産整備課	事業実施(予定)年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１－(6)

事業内容

当市の宮城島と平安座島に挟まれた通路（水路）は、照間･浜･比嘉･桃原･池味の各漁港、伊計･平安座南港から良好な漁場である金武湾での操業に向かうために活用されているが、干潮時には水深が浅くなり小型漁船による海上事故が発生するなど、安全な漁業活動に支障を生じている状況であるため、当該通路を一部浚渫し機能強化を図る。

実施方法

■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	40,005	－			
	(b)予算現額	40,005	－			
	(c)増減額(b-a)	0	－			
	(d)繰越額	－	33,967			
	A. 計(b+d)	40,005	33,967			
B. 執行済額		6,037	33,758			
うち交付金充当額		4,830	27,006			
次年度繰越額		33,967	0			
執行率（%）(B/A)		15.1%	99.4%			

予算の状況の説明

工事発注条件の「岩礁破砕等許可」手続きは、漁協同意を必要とし設計業務完了後に協議等、許可に不測の日数を要したため繰越すこととなった。
不用額が発生しているが、委託費や工事請負費の入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した。

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
小型漁船用通路整備に係る設計及び工事の実施	目　標	通路浚渫:8,000m³	(　)	(　)	(　)
	実　績	通路浚渫:10,000m³			
	目　標	通路の整備延長　=600m	(　)	(　)	(　)
	実　績	通路の整備延長=500m			

達成状況説明

発注後の現場調査で工事支障物件が確認され延長を約100m短縮したが当該箇所は調査（深浅測量）で、漁船通路水深（2m）は満たしており小型船舶の航行に影響がないことが確認された。また、当初発注時の浚渫土量は浚渫余堀は含めてないため、積算基準に準じ、精算したことから2000m³増となった。平成25年7月末で、小型船舶用通路の浚渫工事完了し、目標は達したと考えられる。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
小型漁船用通路整備に係る設計及び工事の実施	目　標	(　)	通路浚渫:8,000m³	(　)	(　)	(　)
	実　績		通路浚渫:10,000m³			
	目　標	(　)	通路の整備延長600m	(　)	(　)	(　)
	実　績		通路の整備延長500m			

進捗状況説明

小型船舶用通路の浚渫を実施したことで、安全な船舶の通行に必要な水深を確保することができ、安全な漁業活動の環境整備を実施することができた。

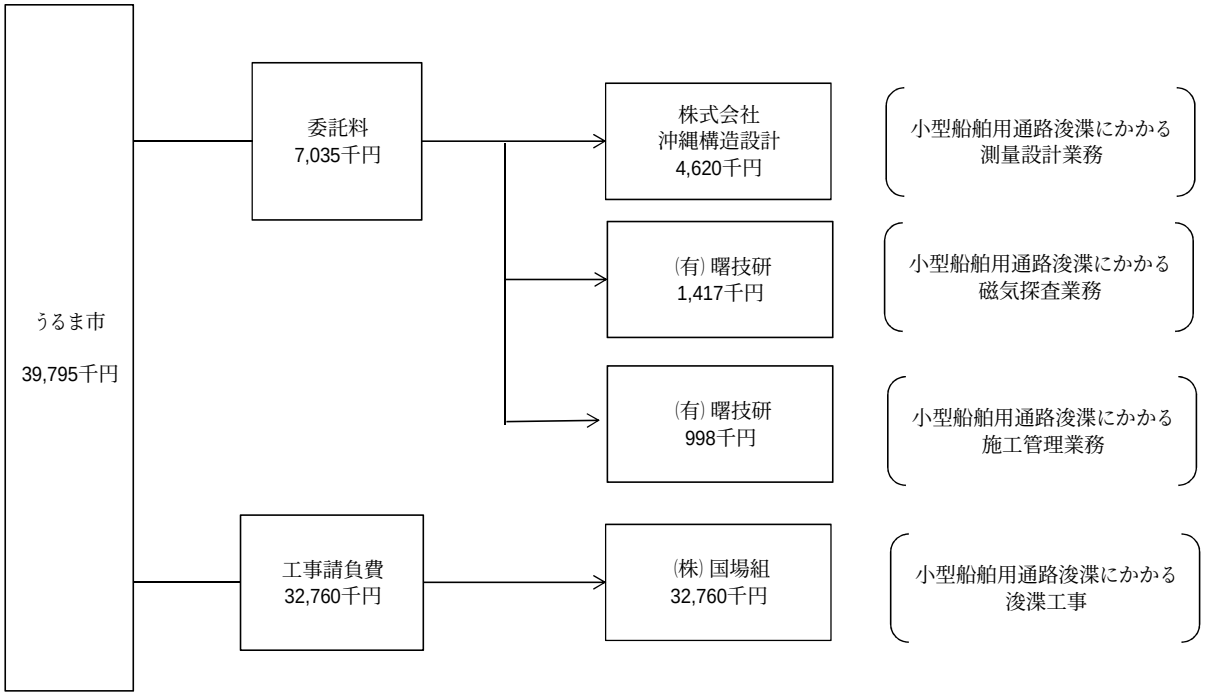
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	浚渫を実施したことで干満の影響による漁業活動の制限をうけることなく、安全に船舶が通行できる環境整備を実施することができた。	安心安全な船舶用通路の確保とどまらず、漁協組合と連携を図り水産業振興にかかる取り組みの実施を検討していきたい。

今後の取り組み方針

今後も、小型船舶用通路の安全性を確保に努め、さらに漁業所得向上等、各種取り組みの実施を検討するなど、さらなる水産業の振興に繋げていきたい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
39,795	39,795	31,836	7,959	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○受託業者は、指名競争入札により選定しており、妥当であると考えている。 ○事業目的、使途、支出等を書類により確認した結果、適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	うるま市

平成２４年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	8-③	水産業拠点施設機能強化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(7)－カ 亜熱帯･島しょ性に適合した農林水産業の基盤整備
担当部課名	経済部　農水産整備課	事業実施(予定)年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(6)

事業内容	石川漁協具志川支所において、当市が所有する水産物鮮度保持施設（製氷施設）の機能強化を実施し、水産業の振興に努める。
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	50,004	－			
	(b)予算現額	50,004	－			
	(c)増減額(b-a)	0	－			
	(d)繰越額	－	48,883			
	A. 計(b+d)	50,004	48,883			
B. 執行済額		1,120	42,000			
うち交付金充当額		896	33,600			
次年度繰越額		48,883	0			
執行率（%）(B/A)		2.2%	85.9%			

予算の状況の説明

県外注文の特注品等の調達に不測の日数を要したため繰越すこととなった。
不用額が発生しているが、委託費や工事請負費の入札残が生じたこと。また、当初計画の一部の機器が実施設計（精査）により、継続使用ができることがわかり省いたこと。結果、当初計画していた事業内容はすべて実施した。

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
製氷及び貯氷機器設備（一式）整備に係る設計及び工事	目　標	（　設計及び工事　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	設計及び工事の完了			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明

平成25年7月末で、水産物鮮度保持施設（製氷施設）の整備完了。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
製氷及び貯氷機器設備（一式）整備に係る設計及び工事	目　標	（　）	設計及び工事	（　）	（　）	（　）
	実　績		設計及び工事の完了			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明

水産物鮮度保持施設（製氷施設）
･製氷機器
･貯氷庫等
上記機能の設備を導入したことで、遠方の漁業にも対応しうる施設を整備することができた。

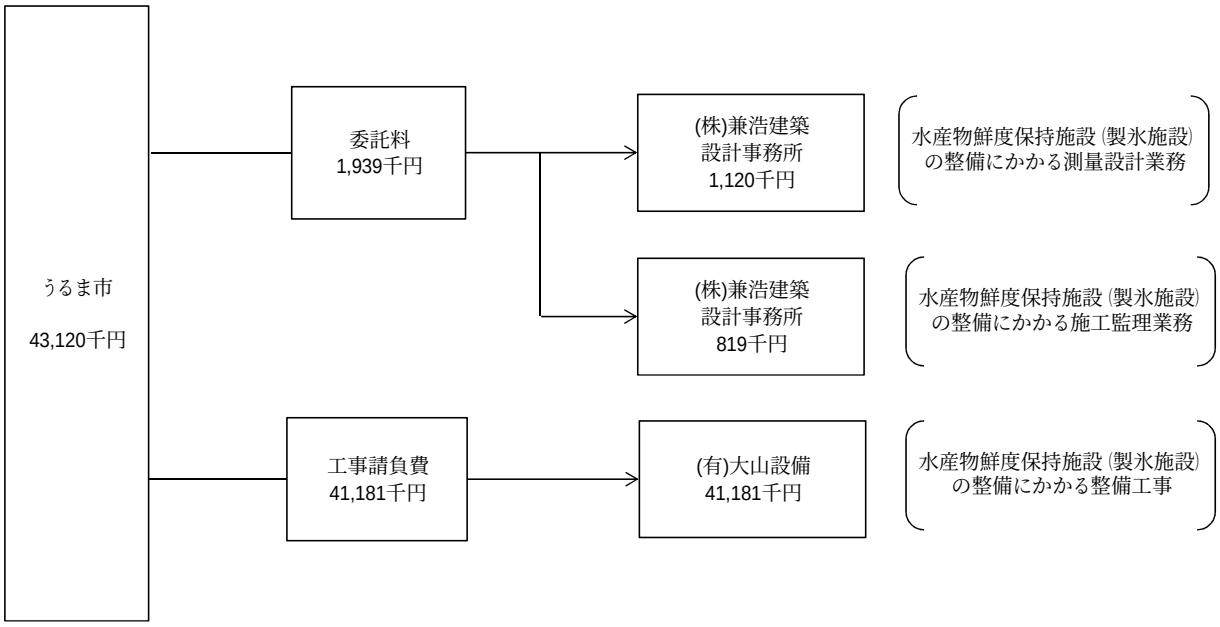
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	整備機器の規模については、出漁に伴う氷の利用量等を考慮し整備しており、適正なものとなっている。 良質な氷を継続して提供するために、漁協組合と施設の管理体制の構築が必要である。	管理委託を予定している漁協組合と、管理方法や体制等について検討し連携を図っていく。

今後の取り組み方針

今後も、良質な氷を使用できる管理方法等環境整備を漁協組合と連携し実施することで、持続的な水産業振興に繋げたい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
43,120	43,120	34,496	8,624	0



資金の流れ、費目・使途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○受託業者は、指名競争入札により選定しており、妥当であると考えている。（一部、地方自治法施行令第167条の2第7号を含む） ○事業目的、使途、支出等を書類による確認した結果、適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	うるま市

平成２４年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	8-④	グァバ産地拠点機能強化事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3-⑺－ｶ 亜熱帯性気候を生かした農林水産業の振興
担当部課名	経済部　農政課	事業実施(予定)年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-⑹

事業内容

グァバの葉は茶葉として加工され、「グァバ茶」として愛飲されている。当市はグァバが特用作物として唯一拠点産地として認定を受けており、拠点産地としての生産強化を図るため、茶葉生産に係る機械設備の機能強化を実施する。

実施方法

□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	14,695	-			
	(b)予算現額	14,695	-			
	(c)増減額(b-a)	0	-			
	(d)繰越額	―	13,347			
	A. 計(b+d)	14,695	13,347			
B. 執行済額		0	13,228			
うち交付金充当額		0	10,582			
次年度繰越額		13,347				
執行率（%）(B/A)		0.0%	99.1%			

予算の状況の説明

購入機械が既存品だけでなく特注品もあり、部品の調達や製造に不測の日数を要したため繰越すこととなった。
不用額が1,467千円発生しているが、事業実施主体の負担金及び入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて　実施した。

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
洗浄機、大型乾燥機、粉砕機、包装機の導入に向けた補助金の交付	目　標	洗浄機･乾燥機･粉砕機･包装機(各1台)の導入	(　)	(　)	(　)
	実　績	洗浄機･乾燥機･粉砕機･包装機(各1台)の導入			
	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績				

達成状況説明

旧式機械による低い作業効率を向上させ、拠点産地として安定出荷を図るべく、洗浄機･乾燥機･粉砕機･包装機(各1台)の導入に向けた補助金を交付し、基盤整備を行った。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
洗浄機、大型乾燥機、粉砕機、包装機の導入を支援	目　標	(洗浄機1台、乾燥機3台、粉砕機1台、包装機1台)	(洗浄機･乾燥機･粉砕機･包装機(各1台)の導入)	(　)	(　)	(　)
	実　績		洗浄機･乾燥機･粉砕機･包装機(各1台)の導入			
【参考指標】	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績					

進捗状況説明

機械整備による基盤整備を行うことで、作業効率が向上し、一度に多くの茶葉の受入が可能となったことから、拠点産地としてグァバの生産体制の強化へ繋げることが出来た。
(一度に受入可能な茶葉の量:導入前３００kg→導入後４５０kg)

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・整備機器の種類や台数については、生産農家数や規模を考慮してのものとなっており、適切なものとなっている。 ・作業効率の向上による、安定した出荷量の確保が必要。	・機械の稼働率向上を図る為、生産出荷計画書の作成等について、組合と検討していく。 ・イベント等に積極的に参加し、PR活動を行っていく。

今後の取り組み方針

今後は、組合と共に原料となる生葉の増産・安定供給の確保、及びグァバ茶の消費拡大・販売促進を行い、拠点産地としての生産強化に努めていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
15,433	13,228	10,582	2,646	2,205

うるま市
13,228千円

→ 補　助　金
13,228千円

→ 農事組合法人
グァバ生産組合
13,228千円

（基盤整備に係る経費の補助
洗浄機　1台　、乾燥機　1台
高速切断機　1台、テーパック包装機　1台
（備品購入費））

［生産組合負担分
（交付対象外経費）　2,205千円］

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・事業実施主体が指名競争入札により購入業者の選定しており、また内容的に妥当な金額であったと考える。 ・受益者負担については、うるま市産地拠点機能強化事業補助金交付要綱により決定しており、適正であったと考える。 ・事業目的達成の観点から額の確定時において、支出等関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	うるま市

平成２４年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	8-⑤	い草産地拠点機能強化事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3-⑺－ｶ 亜熱帯性気候を生かした農林水産業の振興
担当部課名	経済部　農政課	事業実施(予定)年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-⑹

事業内容

当市照間地区は沖縄県唯一のい草生産地であり、「照間のい草」はブランドとして広く認知され、希少価値が高く、その品質が評価されている。その一方、高齢化による生産農家の減少や後継者不足等が課題となっており、安定した生産体制を確保するため、加工機械設備の整備にかかる経費を補助する。

実施方法

□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	42,588	－			
	(b)予算現額	42,588	－			
	(c)増減額(b-a)	0	－			
	(d)繰越額	－	39,516			
	A. 計(b+d)	42,588	39,516			
B. 執行済額		0	39,186			
うち交付金充当額		0	31,348			
次年度繰越額		39,516				
執行率（%）(B/A)		0.0%	99.2%			

予算の状況の説明

ハーベスターを取り扱っている事業者との整備予定台数の確保等の調整･協議に不測の時間を要したため繰越すこととなった。
不用額が3,402千円発生しているが、事業実施主体の負担金及び入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて　実施した。

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
ハーベスター、乾燥機、織機の導入に向けた補助金の交付	目　標	ハーベスター6台、乾燥機4台、織機2台の導入	（　）	（　）	（　）
	実　績	ハーベスター6台、乾燥機4台、織機2台の導入			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明

生産農家の意欲向上と生産拡大を図るべく、ハーベスター6台、乾燥機4台、織機2台の導入に向けた補助金を交付し、基盤整備を行った。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
ハーベスター、乾燥機、織機の導入を支援	目　標	ハーベスター1台、乾燥機5台、織機10台	（ハーベスター6台、乾燥機4台、織機2台の導入）	（　）	（　）	（　）
	実　績		ハーベスター6台、乾燥機4台、織機2台の導入			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明

･機械導入による基盤整備を行うことにより、作業効率は向上し、生産農家の負担が軽減され、安定生産体制の向上に繋がった。
･ハーベスターを活用した収穫による作業効率の向上
（30a分の収穫　：　導入前　3人で7日　→　2人で1日　（農家への聞き取り調査の実施により）

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・整備機器の種類や台数については、生産農家数や規模を考慮してものとなっており適正なものとなっている。 ・安定生産及び生産拡大に繋げるため、圃場の拡大を図る必要がある。 ・い草の消費は公共事業（公共団地）が殆どであり、一般市場への供給は積極的に行われていない。	・他課との連携等により、長期的な取り組みとして海抜0地帯への客土による圃場の基盤整備等を行い、い草の安定生産及び生産拡大等に努める。 ・い草の活用について、畳表以外の活用方法を検討する必要がある。

今後の取り組み方針

今後は、さらなるハーベスター有効活用による作業効率の向上や乾燥機・織機による生産性の向上に取組み、畳表の生産のみに留まらず、付加価値化及びブランド化を推進することで、さらに持続性の高い事業として地位を形成することに努める。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
45,717	39,186	31,348	7,838	6,531

うるま市 39,186千円 → 補助金 39,186千円 → うるま市い草生産組合 39,186千円

生産組合負担分（交付対象外経費） 6,531千円

基盤整備に係る経費の補助
ハーベスター 6台 、大型乾燥機 4台
織機 2台
（備品購入費）

資金の流れ、費目・使途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・事業実施主体が指名競争入札により購入業者の選定しており、また内容的に妥当な金額であったと考える。 ・受益者負担については、うるま市産地拠点機能強化事業補助金交付要綱により決定しており、適正であったと考える。 ・事業目的達成の観点から額の確定時において、支出等関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	うるま市

平成２４年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	9-②	沖縄アミークス周辺環境整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(5)－ア 研究開発･交流の基盤づくり
担当部課名	建設部　土木課	事業実施(予定)年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－5

事業内容

大学院大学関連事業の一環として、教職員や学生等の子弟が通学する沖縄アミークスインターナショナルが平成23年4月に開学した。通学路となっている市道の一部を改良し、安心･安全な通学･通勤環境の確保を図る。

実施方法

■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	58,801	－			
	(b)予算現額	58,801	－			
	(c)増減額(b-a)	0	－			
	(d)繰越額	－	54,175			
	A．計(b+d)	58,801	54,175			
B．執行済額		4,326	47,428			
うち交付金充当額		3,460	37,943			
次年度繰越額		54,175	0			
執行率（%）(B/A)		7.4%	87.5%			

予算の状況の説明

道路構造物潰地(案)について、地権者との調整及び検討に不測の日数を要したため繰越すこととなった。
予算の減額については、入札執行残額及び用地買収の減等によるものであり、当初計画していた事業内容は全て執行した。

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
実施設計及び分筆測量 道路の一部改良工事	目　標	（整備延長110.0m）	（　）	（　）	（　）
	実　績	整備延長110.0m			
歩道の設置工事	目　標	（整備延長290.0m）	（　）	（　）	（　）
	実　績	整備延長290.0m			

達成状況説明

設計業務:実施設計
工事業務:アミークス周辺環境整備工事
分筆測量業務:工事完了に伴い、施工範囲の市有地を対象とした分筆測量を実施
道路台帳作成業務:工事完了に伴い、道路台帳作成を実施

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
実施設計及び分筆測量 道路の一部改良工事	目　標	（　）	整備延長110.0m	（　）	（　）	（　）
	実　績		整備延長110.0m			
歩道の設置工事	目　標	（　）	整備延長290.0m	（　）	（　）	（　）
	実　績		整備延長290.0m			

進捗状況説明

進入路全区間において歩道を設置することで安心で安全な通学路の確保を行った。また通行車両の見通しを改善するため一部道路改良を行い、安全で快適な走行環境の整備を行った。

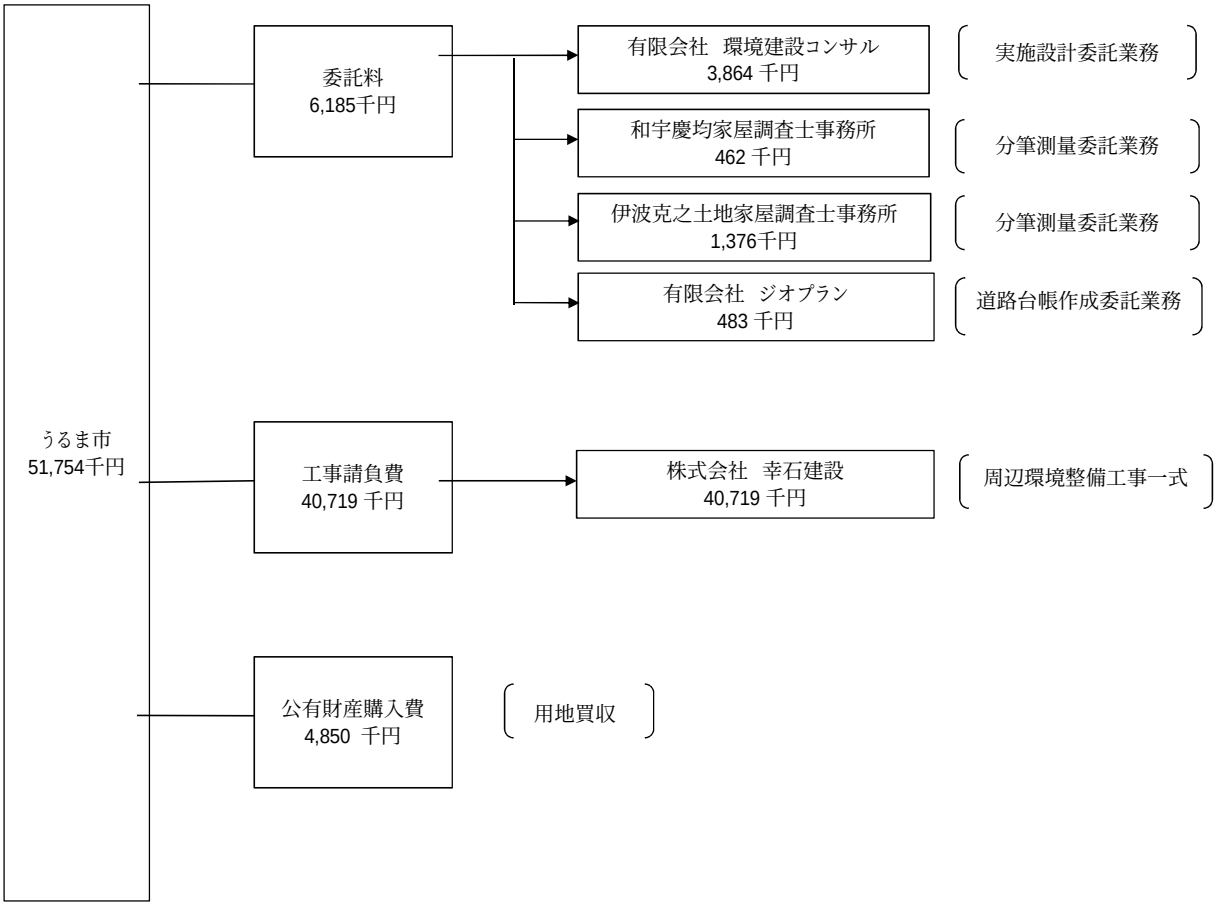
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・歩道設置により、登下校時の児童の安全確保が可能な環境となった。 ・一方では、通行車両の見通し改善により、スピードの加速が懸念される。	今後、沖縄アミークスインターナショナルスクールの中学部開校に伴い、歩行者やスクールバスの往来の増加が予測されることから、経過観察を行い、状況に応じた改善を検討する必要がある。

今後の取り組み方針

・学校のニーズや周辺施設利用者との調和のとれた環境整備を推進していく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
51,754	51,754	41,403	10,351	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託、工事事業者は指名競争入札により選定しており、妥当であったと考えている。 ・複数の会社からの見積を精査し、額の確定が適正であることを確認した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	うるま市

平成２４年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	12-①	児童館建設事業（実施設計業務等）		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(2)－イ 地域における子育て支援の充実
担当部課名	福祉部　児童家庭課	事業実施(予定)年度	平成２４～２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－4

事業内容

地域の中で安心して子どもを生み育てることができる環境づくりを目指すために、児童館未整備地区において教育活動施設整備のための実施設計等の業務を実施する。

実施方法

■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	17,971	－			
	(b)予算現額	12,679	－			
	(c)増減額(b-a)	▲ 5,292	－			
	(d)繰越額	－	5,474			
	A. 計(b+d)	12,679	5,474			
B. 執行済額		6,411	3,720			
うち交付金充当額		5,128	2,976			
次年度繰越額		5,474	0			
執行率（%）(B/A)		50.6%	68.0%			

予算の状況の説明

限られた敷地内を有効活用するため、設計に不測の時間を要し繰り越すこととなった。また、発注業務も効率的で安価な手法を選択し、当初計画していた事業内容は全て完了し、適正であったと考えている。

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
児童館整備に係る実施設計及び外構設計等の実施	目　標	実施設計及び外構設計等の実施	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	造成設計業務　完了 実施設計業務　完了			
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明

地域からの要望等を考慮し、限られた敷地内を有効活用した実施･造成設計を実施することができた。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
児童館整備に係る実施設計及び外構設計等の実施	目　標	（　　）	実施設計及び外構設計等の実施	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績		造成設計業務 実施設計業務 完了			
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					

進捗状況説明

地域からの要望等を考慮し、限られた敷地内を有効活用した実施･造成設計を実施することができた。

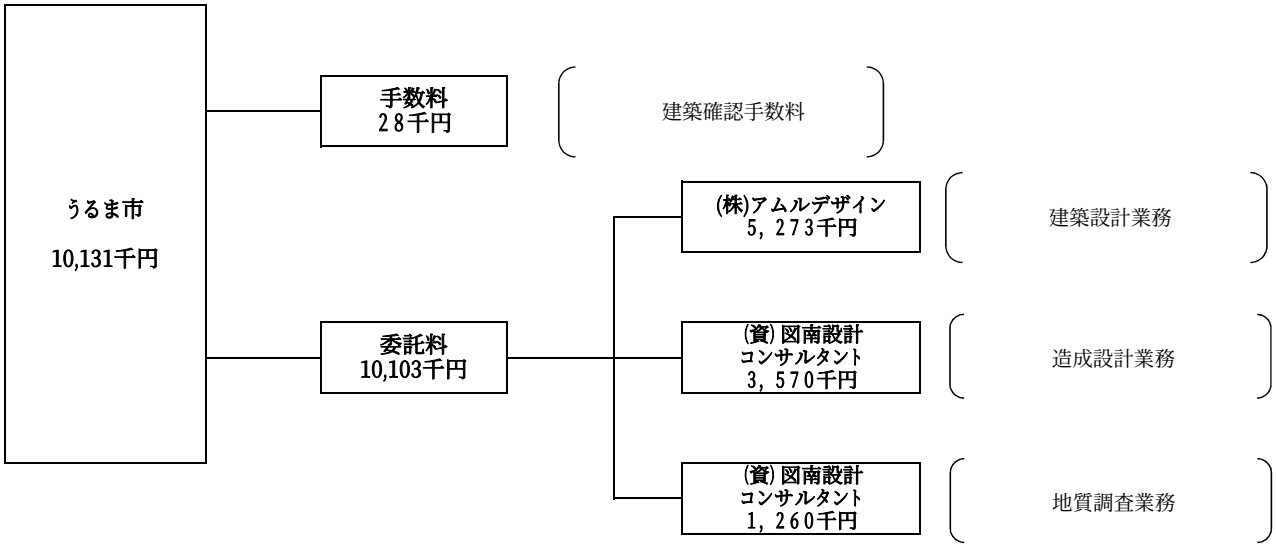
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	当該地域が住宅地域である為、工事の発注に関しては、地域との連携を蜜に取り組み、また、完成後、関係団体等とも連携を蜜に目的に合致した管理運営を実施していくことが今後の推進上の留意事項と考えている。	留意点を改善するため、地域住民や関係団体と早い段階から連携を図り、調整を行って行く必要がある。

今後の取り組み方針

①建築工事の適正な執行に努め整備を実施する。
②建設に当たり地域との連携を図る。
③管理運営に当たり、地域との連携を図る。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
10,131	10,131	8,104	2,027	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者については、指名競争入札により選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	うるま市

平成２４年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	15-①	緊急情報伝達施設機能強化整備事業（中城湾港新港地区）		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－２－（４）－イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化
担当部課名	総務部　総務課	事業実施（予定）年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１０－（２）

事業内容

防災行政無線屋外拡声子局が設置されていない地区に、防災情報や緊急情報を伝達するための設備を整備し、迅速かつ円滑な避難活動ができる防災基盤を整える。

実施方法

■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度（繰越）	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	23,520	－			
	(b)予算現額	23,520	－			
	(c)増減額(b-a)	0	－			
	(d)繰越額	0	20,790			
	A．計(b+d)	23,520	20,790			
B．執行済額		2,415	19,123			
うち交付金充当額		1,932	15,298			
次年度繰越額		20,790	0			
執行率（%）（B/A）		10.3%	92.0%			

予算の状況の説明

設置にあたっては、車両や人など交通への影響、高層建築物の有無、隣接する防災行政無線子局との位置関係等を検討する必要があり、その確認や調整に不測の時間を要したため繰越すこととなった。
不要額が1,982千円発生しているが、これは入札等の執行残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した。
また、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
中城湾港新港地区における防災行政無線屋外拡声子局の設置数	目　標	（　6子局の増設　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	5子局の増設			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明

現地踏査を踏まえた実施設計の結果、当初計画の６子局増設から１子局の減となったが、中城湾港新港地区全体及び当該地区に隣接する塩屋地区をカバーすることができるため、目的及び効果の達成を鑑み適正であった。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
中城湾港新港地区防災行政無線放送可聴エリアカバー率	目　標	（　）	100%	（　）	（　）	（　）
	実　績		100%			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明

新たに屋外拡声子局を設置した場所付近は、海に面する低地帯であり、津波時には避難が必要な地域である。
また、これらの地域は、中城湾港新港地区（経済特区である特別自由貿易地域を含む）となっており、約150社、約3,000名が就労している。

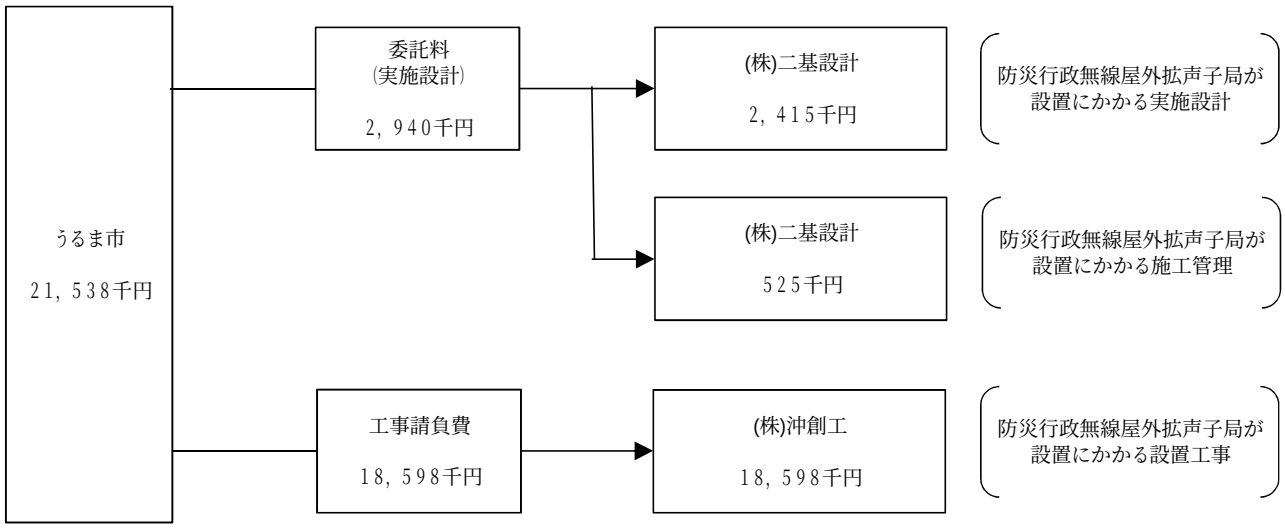
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	今回、防災行政無線屋外拡声子局を整備したことにより、中城湾港新港地区の全体に対して緊急情報の広報が可能となり、就労者をはじめ土地勘のない訪問者（県外からの出張者等）の安心に寄与するとともに、情報伝達体制を強化することができた。 災害時等の緊急時に屋外拡声子局から情報が発信できるよう、設備等においては、常に良好の状態を維持する必要がある。	屋外拡声子局等の不具合を早期に発見するため、定時放送（朝昼夕のチャイムや一般行政広報）を実施し、起動状態を確認する。

今後の取り組み方針

屋外拡声子局等の不具合を早期に発見するための定時放送のほか、設備に精通した業者に年間を通して保守業務を委託し、災害時に迅速･確実な情報発信ができる体制の維持に努める。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
21,538	21,538	17,230	4,308	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	●契約相手は、指名競争入札により落札者を決定している。（工事は入札が不調となり、不落随意契約で執行） ●事業内容に見合った適切な予算と考えている。 ●契約事務等に関する書類により確認し、適正な支出と考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目･使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	うるま市

平成２４年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	15-②	防災避難通路整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(4)－イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化
担当部課名	総務部　総務課	事業実施(予定)年度	平成２４～２７年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－10－(2)

事業内容

当市は沖縄本島内の市町村で最も長い海岸線を有しており、低地帯地域に居住する市民や企業等、また多くの観光客の安全･安心を確保するため、防災避難通路を整備し、きめ細かな防災基盤を構築する

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	12,996	－			
	(b)予算現額	12,996	－			
	(c)増減額(b-a)	0	－			
	(d)繰越額	0	12,996			
	A. 計(b+d)	12,996	12,996			
B. 執行済額		0	7,008			
うち交付金充当額		0	5,606			
次年度繰越額		12,996	0			
執行率（%）(B/A)		0.0%	53.9%			

予算の状況の説明

当初、整備を予定していた避難通路について、土地相続などの権利関係の課題が多々あることが判明したため、地元自治会と新たな通路を選定することとなり、その調整に不測の日数を要したため繰越すこととなった。
平成24年度(繰越)実施設計の結果、分筆測量業務の数量減と物件調査業務が不要となり、執行率が低下したが、平成24年度に計画していた事業内容はすべて実施した。

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
防災避難通路整備に係る設計業務の実施	目　標	（設計業務の実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績	設計業務の完了			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明

設計業務を実施し、その結果を踏まえて分筆測量業務を行った。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
防災避難通路整備に係る設計業務の実施	目　標	（　）	設計業務の実施	（　）	（　）	（　）
	実　績		設計業務の完了			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明

比嘉地区、浜地区、屋慶名1地区及び3地区に防災避難通路を整備するため、実施設計と分筆測量業務を実施した。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	平成24年度事業を推進するなかで、土地相続にかかる権利関係の課題があることがわかり、不測の日数を要したが、解決に向けて地元自治会等と協働して取り組むことができ、当初計画していた事業内容はすべて実施できた。	避難通路整備事業は、2回に分けて計画している。平成25年度については、次回整備予定箇所の基本設計を実施するとともに早めに地元説明会等を開催することで、事業の円滑な推進を図ることとした。

今後の取り組み方針

防災意識の高揚を図るため、避難通路の維持管理（草刈、清掃等）は、覚書に基づき地元自治会が主体となって実施する。
毎年、実施している「市地震・津波防災訓練」で避難通路を利活用することで、住民等に避難場所等を周知する。
また、訓練における個々の課題を検証しその解決に努める。
さらに、地元や地権者の理解を得るため、次回整備予定箇所の基本設計を実施するとともに、早めに地元説明会等を開催し、円滑な事業推進に努める。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
7,008	7,008	5,606	1,402	0

うるま市
7,008千円

→ 委託料
7,008千円

→ 有限会社 曙技研
5,355千円
（防災避難通路にかかる設計業務）

→ 伊波克之土地家屋調査士事務所
1,653千円
（防災避難通路にかかる分筆測量業務）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託料（2件）に関しては、指名競争入札による契約であり、支出先の選定については適切だと考えている。 ○予算規模は概算積算書に基づくものであり、事業内容に見合った適正な予算規模だと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	うるま市

平成２４年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	15-③	桃原地区（市道与那城24号線）避難道路整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－（4）－イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化
担当部課名	建築部　土木課	事業実施（予定）年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－10－（2）

事業内容

当該道路は、桃原地区から高台へ避難する重要な道路であるが、道路が未舗装のため、高台からの雨水等で路面が侵食されていることから、舗装を行い、安全な避難経路を確保する。

実施方法

■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度（繰越）	25年度	26年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	12,720	－			
	(b)予算現額	12,720	－			
	(c)増減額(b-a)	0	－			
	(d)繰越額	－	6,073			
	A．計(b+d)	12,720	6,073			
B．執行済額		6,531	6,073			
うち交付金充当額		5,224	4,858			
次年度繰越額		6,073	0			
執行率（%）（B/A）		51.3%	100.0%			

予算の状況の説明

当該工事箇所に隣接し墓地があり、工事の施工方法について墓地所有者との調整に不測の日数を要し繰越すこととなった。
不用額が、116千円発生しているが、工事費の入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した。他、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
桃原地区避難道路整備（延長＝200m　幅員＝5.0m）に係る工事の実施	目　標	工事の実施 L＝200m W=5.0m	（　）	（　）	（　）
	実　績	工事の実施 L＝220m W=5.0m			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明

当該道路は、桃原地区から高台へ避難する重要な道路であるが、道路が未舗装のため、高台からの雨水等で路面が侵食されていることから、舗装を行い、安全な避難経路を確保したので、成果目標の達成状況からも適正であった。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
桃原地区避難道路整備（延長＝200m　幅員＝5.0m）に係る工事の実施	目　標	（　）	工事の実施 L＝200m W=5.0m	（　）	（　）	（　）
	実　績		工事の実施 L＝220m W=5.0m			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明

平成26年3月6日に工事発注し年度の第一四半期の平成２６年6月２８日に完了した。年度の第一四半期に完了出来た。
道路延長が、20m伸びているのは、新設道路から既設道路間のコンクリート舗装を延長し、安全な避難通路を確保するために延長したものである。

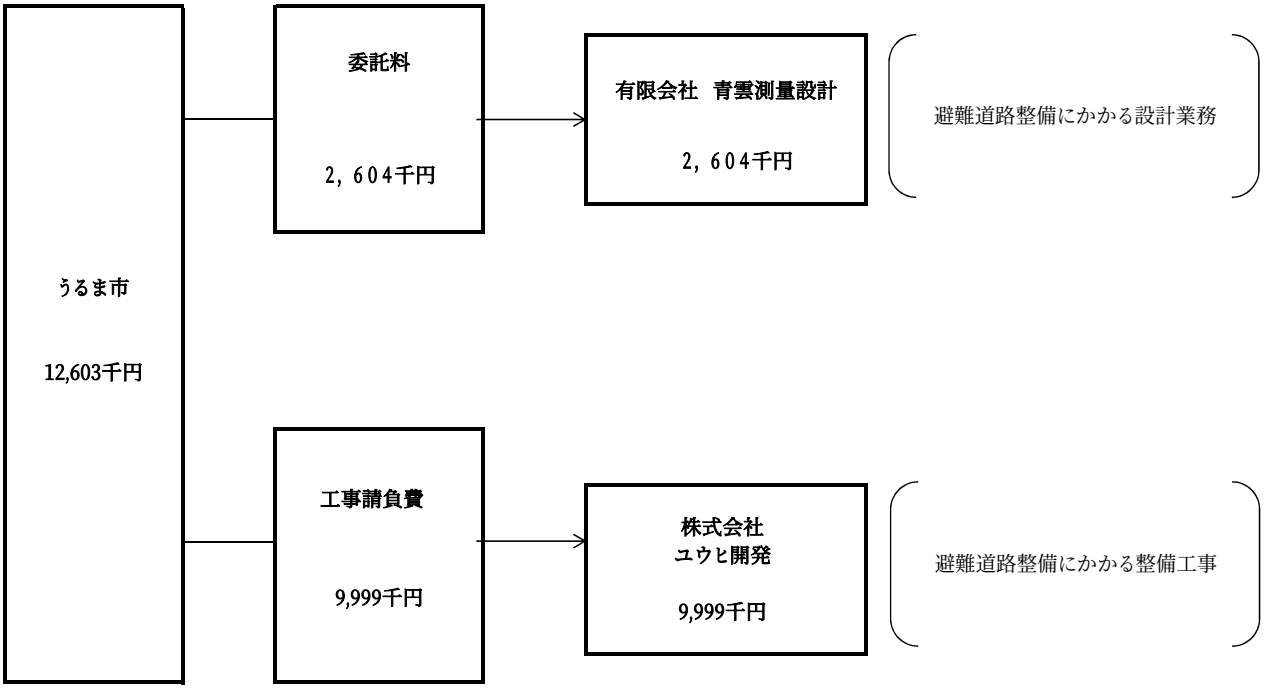
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	当該道路は、桃原地区から高台へ避難する重要な道路であるが、道路が未舗装のため、高台からの雨水等で路面が侵食されていることから、舗装を行い、安全な避難経路を確保したので、成果目標の達成されている。	今後においても、さらなる高台への避難する重要な道路であるため、避難道路の延長などを検討していきたい。

今後の取り組み方針

今後においても、さらなる高台への避難する重要な道路であるため、避難道路の延長などを検討し安全な避難通路の確保に努めていきたい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
12,603	12,603	10,082	2,521	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・設計委託業務及び工事請負については、指名選定競争入札においての落札業者であるため、適正と考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	・費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	うるま市

平成２４年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	16-①	沖縄戸籍等整備プロジェクト		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(5)－イ
					戦後処理問題の解決
担当部課名	市民部　市民課	事業実施(予定)年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１２

事業内容

沖縄戸籍の証明書等は、戦災で多くが消失しており住民の記憶を基に申請した書類の劣化が激しく今後の保存･活用に耐えられないため、沖縄関係戸籍(臨時戸籍)を電子データ化する。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	28,665	－			
	(b)予算現額	26,250	－			
	(c)増減額(b-a)	▲ 2,415	－			
	(d)繰越額	－	26,250			
	A. 計(b+d)	26,250	26,250			
B. 執行済額		0	26,250			
うち交付金充当額			21,000			
次年度繰越額		26,250	0			
執行率（%）(B/A)		0.0%	100.0%			

予算の状況の説明

電子化にあたり、臨時戸籍が想定以上に劣化が進んでおり、その対応に不測の日数を要したため繰越すこととなった。
予算を2,415千円減額しているのは、単価等について業者と調整をした結果減額となったものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
沖縄関係戸籍の電算化の実施	目　標	（戸籍枚数 40,575枚）	（　）	（　）	（　）
	実　績	40,575枚			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明

臨時戸籍原簿の劣化が激しく今後の保存･活用に耐えられなかったが、電算化することにより臨時戸籍の安定的な保存を図ることが出来た。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
臨時戸籍の電子化率	目　標	（　）	（100%）	0	（　）	（　）
	実　績		100%	0		
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明

戦後の混乱時に、応急的に作成された沖縄戸籍の整備により、戸籍訂正等で使用頻度が多い書類の保存状態の維持が図られ、戦後処理問題の解決に寄与する環境整備を行うことができた。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	昭和22年3月に「臨時戸籍取扱要綱」を通達し、臨時戸籍を編製したが、永年保存が必要な当該原簿を粗悪なレポート用紙に記録している事例などもあり、劣化が激しく慎重な取り扱いを要した。	劣化の激しい沖縄関係戸籍（約4万枚）を1枚1枚丁寧にスキャン作業を実施したことで、現状で把握可能な情報を電算化することができ、沖縄戸籍の安定的な保存を実施することができた。

今後は、電子化された臨時戸籍等の適正な管理に努め、戸籍事務の安定的な提供を実施していく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
26,250	26,250	21,000	5,250	0

うるま市
26.250千円

→ 委託料
26.250千円

→ 富士ゼロックスシステムサービス株式会社
26.250千円

（臨時戸籍等デジタル化にかかる委託業務）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託業者は、現システムとの相互関連性を勘案した上で、随意契約しており、妥当であったと考えている。（地方自治法施工令167条の2第1項2号に基づく）
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	